

鳥栖市障害者理解基礎調査
(障害者とその生活に対する関心度調査)

報告書

平成 24 年 3 月

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

目次

第1章. 調査の概要 P 1

第2章. 質問と回答（単純集計結果） . . P 3

第3章. 調査結果の分析 P16

第4章. 自由記述 P42

第5章. まとめ P63

資料. 調査票

第1章. 調査の概要

1. 調査の目的

鳥栖市では、第6次総合計画において、基本構想の中で『住み良さが実感できるまち』をまちづくりの方向性の1つとして位置づけ、将来都市像『住みたくなるまち鳥栖―“鳥栖スタイルの確立”―』を目指している。また、基本計画ではリーディングプロジェクトに『高齢者、障害者の暮らしを支えるプロジェクト』を位置づけ、障害のある人が住み慣れた地域で生活していくために地域全体でサポートする体制づくりが行われている。障害があっても一人ひとりが自分らしく生きることができる社会をつくるために、今後とも多様な視点に立った障害福祉施策の推進が必要である。

本調査では、その中でも特に地域の中での障害理解に焦点を当て、「障害者とその生活」に対する関心度を知ることにより、鳥栖市に於ける障害理解の状況を把握し、啓発をはじめとする障害福祉施策の基礎資料とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域……鳥栖市内全域
- (2) 調査対象……鳥栖市内在住の20歳以上の市民2,000人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送による配布、回収
- (5) 調査期間……平成23年11月10日～12月12日

3. 回収結果

- (1) 調査票送付数 2,000人
- (2) 回収数 826人
- (3) 回収率 41.3%

4. 集計について

- (1) 集計は小数第1位を四捨五入して算出した。
- (2) 各設問で欠損値を除外し集計したため、各設問の総度数が異なる。
- (3) 集計は①単純集計、②設問間のクロス集計を行った。クロス集計については、カイ二乗検定において分析を行った。

例)

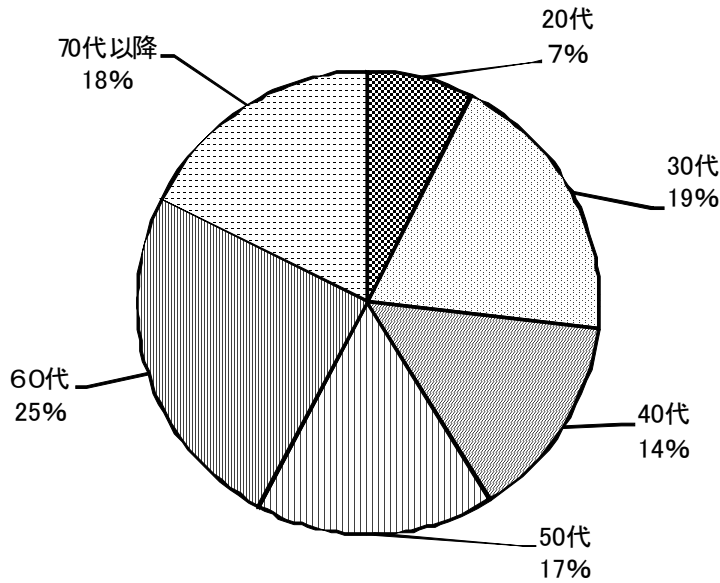
	あり	なし
あり	▲35	20
なし	▽12	19

①▲は統計的に優位に多いことを示す
②▽は統計的に優位に少ないことを示す。
③結果において統計的有意水準を以下のように表記した。
1%水準で優位・・・ $p < .01$
5%水準で優位・・・ $p < .05$

第2章. 質問と回答(単純集計結果)

Q1.あなたの年齢のうち当てはまるものはどれですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代 (5) 60代 (6) 70代以上

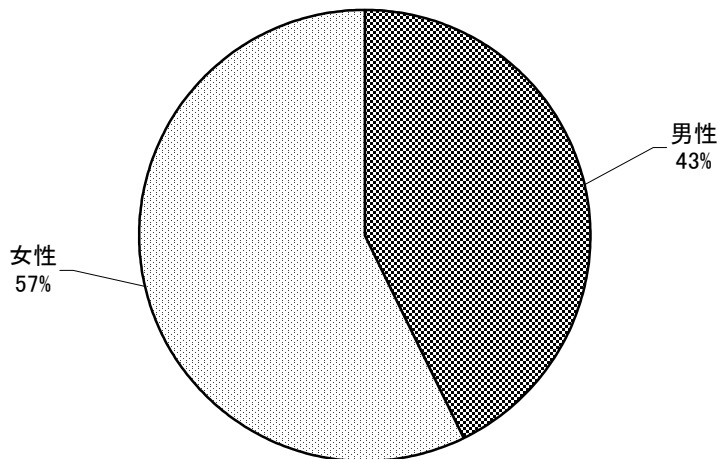


20代	61
30代	160
40代	118
50代	137
60代	202
70代以降	145
合計	823人

図1 年代別人数

Q2.あなたの性別のうち当てはまるものはどれですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 男性 (2) 女性

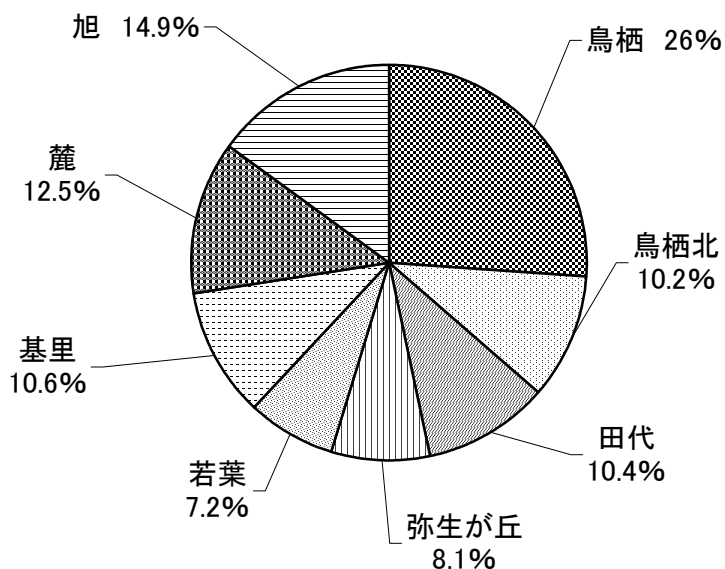


男性	346
女性	461
合計	807人

図2 性別人数

Q3.あなたのお住まいの地区はどちらですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 鳥栖 (2) 鳥栖北 (3) 田代 (4) 弥生が丘
 (5) 若葉 (6) 基里 (7) 麓 (8) 旭
 (9) 分からない(町名:)

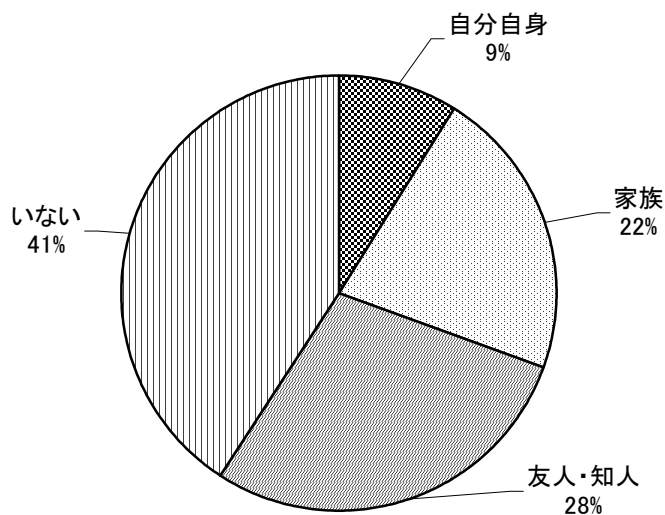


鳥栖	215
鳥栖北	84
田代	86
弥生が丘	67
若葉	59
基里	87
麓	103
旭	123
合計	824人

図3 地域別人数

Q4. あなたと障害のある人との関係の中で、当てはまるものはどれですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 自分自身が障害当事者
 (2) (自分は障害者ではないが) 家族に障害のある人がいる (いた)
 (3) (自分や家族にはいないが) 友人、職場の同僚、近所等に障害のある人がいる (いた)
 (4) 特に障害のある知り合いはいない

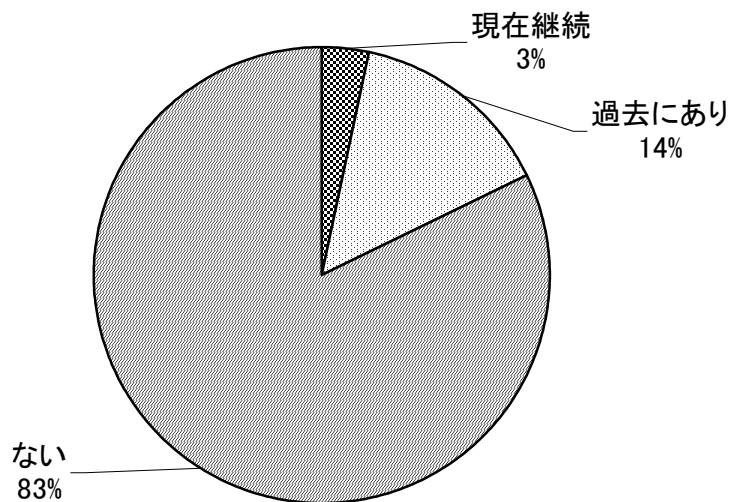


自分自身	72
家族	177
友人・知人	231
いない	333
合計	813人

図4 障害のある人との関係

Q5.あなたは、障害のある人を支援するボランティア経験がありますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 現在も継続的に参加している
- (2) 過去に参加したことがある
- (3) ない

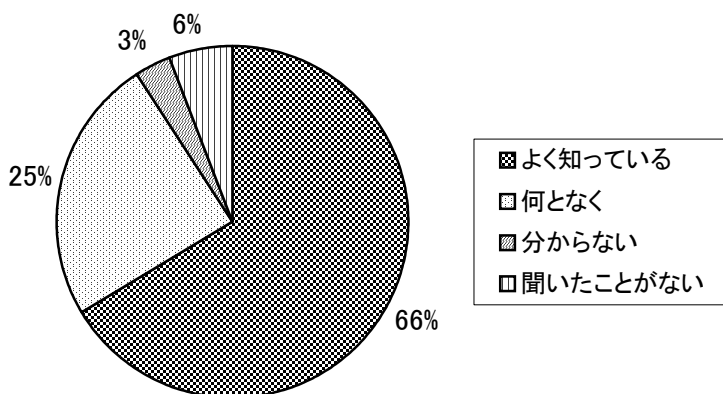


現在継続	28
過去にあり	116
ない	671
欠損	1
合計	816人

図5 ボランティア経験

Q6. あなたは、「バリアフリー」を知っていますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 聞いたことがあるし、言葉の意味もよく知っている
- (2) 聞いたことがあるし、言葉の意味も何となく分かる
- (3) 聞いたことはあるが、言葉の意味は分からない
- (4) 聞いたことがない

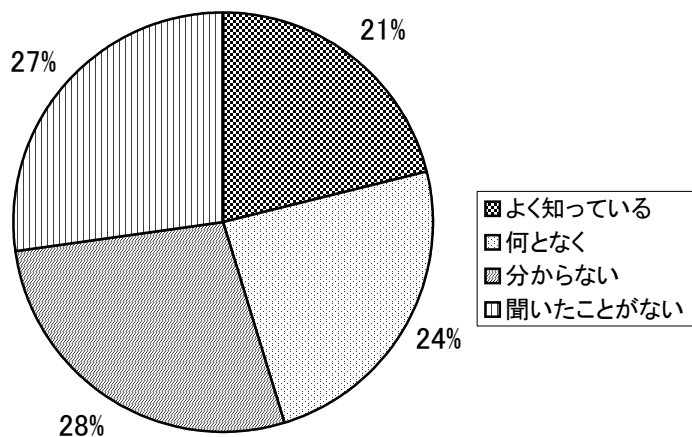


よく知っている	546
何となく	203
分からない	28
聞いたことがない	47
合計	824人

図6 「バリアフリー」

Q7. あなたは、「ユニバーサルデザイン」を知っていますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 聞いたことがあるし、言葉の意味もよく知っている
- (2) 聞いたことがあるし、言葉の意味も何となく分かる
- (3) 聞いたことはあるが、言葉の意味は分からない
- (4) 聞いたことがない

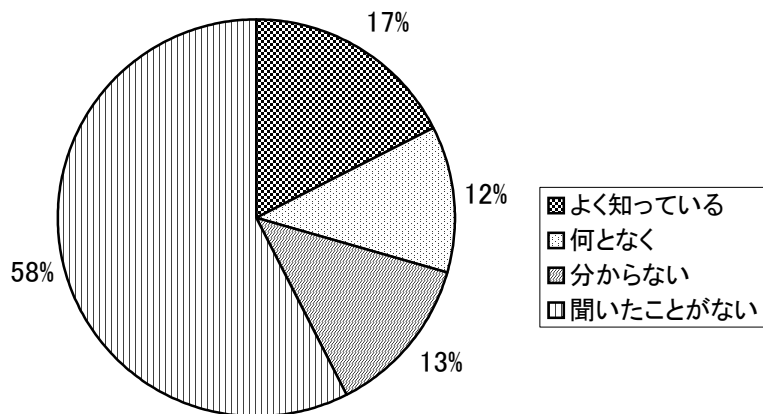


よく知っている	173
何となく	198
分からない	225
聞いたことがない	224
合計	820 人

図7 「ユニバーサルデザイン」

Q8. あなたは、「パーキング・パーミット」を知っていますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 聞いたことがあるし、言葉の意味もよく知っている
- (2) 聞いたことがあるし、言葉の意味も何となく分かる
- (3) 聞いたことはあるが、言葉の意味は分からない
- (4) 聞いたことがない

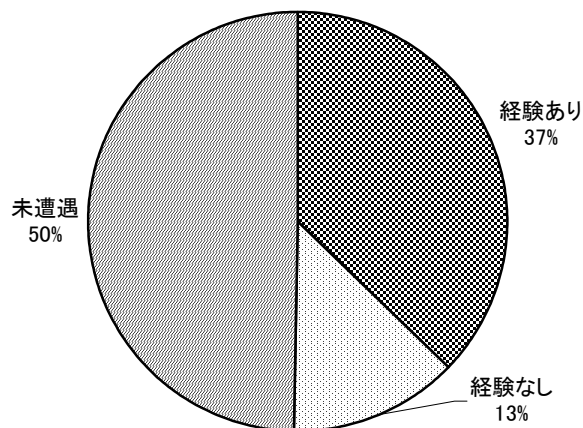


よく知っている	135
何となく	92
分からない	102
聞いたことがない	443
合計	772 人

図8 「パーキング・パーミット」

Q9. あなたは、見知らぬ障害のある人が街中で困っているのを見て、助けたことがありますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 助けたことがある
- (2) 助けたことがない
- (3) 見かけたことがない

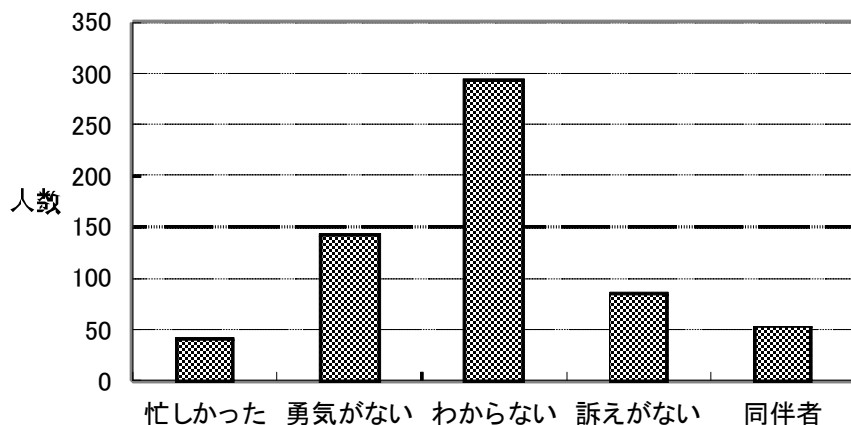


経験あり	288
経験なし	101
未遭遇	384
合計	773人

図9 援助行動の有無

SQ9. 【Q9.で(2)とお答えの方】あなたがその時に助けなかった理由は何ですか？（当てはまる全てに○）

- (1) 自分が忙しかったから
- (2) 声をかける勇気がなかったから
- (3) どのように助ければいいのか分からなかったから
- (4) 障害のある人から「助けてほしい」と声をかけられなかったから
- (5) 家族や介助者など同伴がいたから
- (6) その他

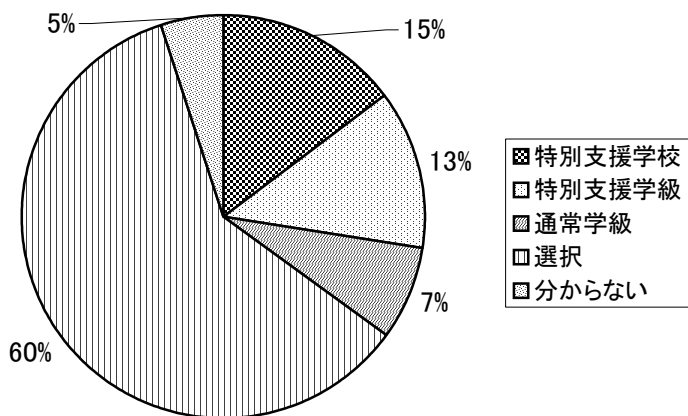


忙しかった	42
勇気がない	142
わからない	293
訴えがない	85
同伴者	53
合計	615人

図9-1 援助しなかった理由

Q10. 障害のある子どもが学ぶ環境について、あなたはどこで学ぶべきだと思いますか？

- (1) 障害のある子どものために作られた特別支援学校（旧・養護学校）
- (2) 地域の学校に配置された特別支援学校（旧：特殊学級）
- (3) 地域の学校の通常学級
- (4) 子どもの能力に応じてどこで学ぶかを選択する
- (5) 学ばなくてもよい
- (6) 分からない

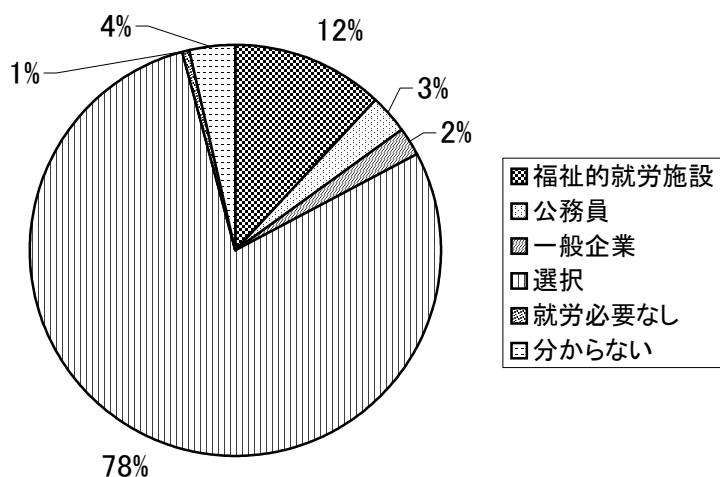


特別支援学校	114
特別支援学級	99
通常学級	57
選択	464
分からない	38
合計	772 人

図10 教育環境

Q11. 障害のある人が働く環境について、あなたはどこで働くべきだと思いますか？

- (1) 福祉的就労施設（障害のある方のために設置された就労場所。例：小規模作業所）
- (2) 公務員（国や地方公共団体）
- (3) 一般企業
- (4) 本人の能力に応じてどこで働くかを選択する
- (5) 働かなくてもよい
- (6) 分からない

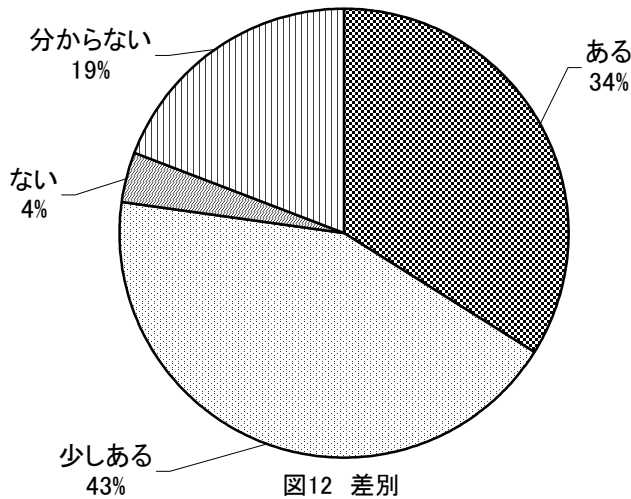


福祉的就労施設	93
公務員	23
一般企業	17
選択	605
就労必要なし	4
分からない	28
合計	770 人

図11 就労環境

Q12.あなたは、現在、日本の社会には障害のある人に対して、障害を理由とする差別があると思いますか？

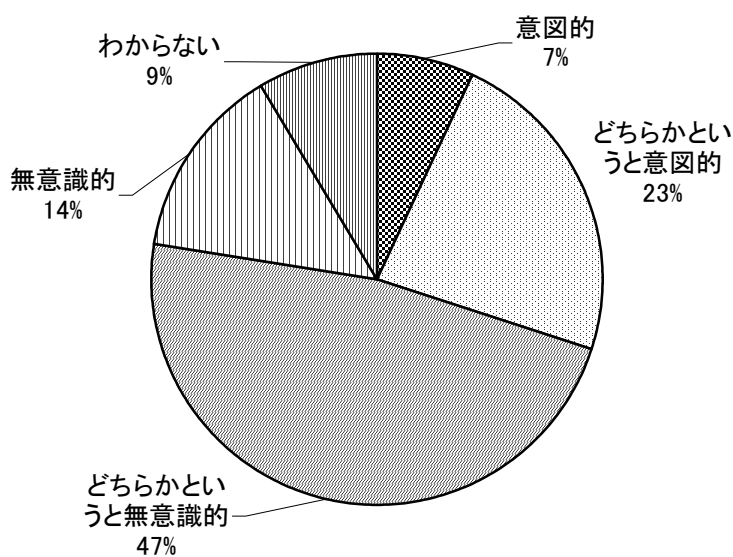
- (1) ある
- (2) 少しはある
- (3) ない
- (4) 分からない



ある	264
少しある	335
ない	29
分からない	148
合計	776人

SQ12.【Q12で(1)または(2)とお答えの方】あなたは、障害を理由とする差別を行っている人の意識についてどう思いますか？(当てはまる1つに○)

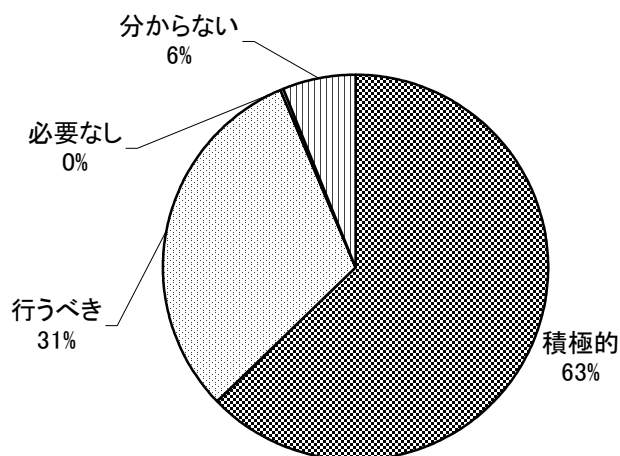
- (1) 意図的に行われている差別が多い
- (2) どちらかという、意図的に行われている差別が多い
- (3) どちらかという、無意識的に行われている差別が多い
- (4) 無意識的に行われている差別が多い
- (5) わからない



意図的	42
どちらかという、意図的	142
どちらかという、無意識的	293
無意識的	85
わからない	53
合計	615人

Q13.あなたは、企業や学校・病院など障害のある顧客・利用者のために負担をしてスロープを設置したり点字や手話などで情報を提供するなどの様々な配慮を行うことについてどう思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 企業や学校・病院などは積極的に行うべきである
- (2) 企業や学校・病院などにとって過度な負担とならないように考慮して行うべきである
- (3) 企業や学校・病院などは行う必要はない
- (4) わからない

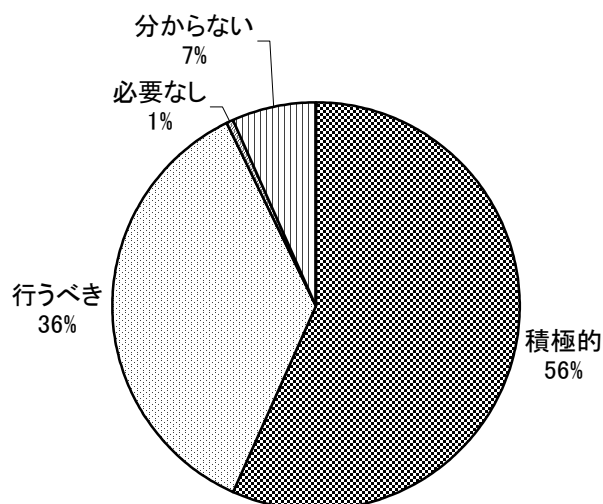


積極的	483
行うべき	237
必要なし	3
分からない	47
合計	770人

図13 利用者への配慮

Q14. あなたは、企業や学校・病院など障害のある従業員のために負担をしてスロープを設置したり点字や手話などで情報を提供するなどの様々な配慮を行うことについてどう思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 企業や学校・病院などは積極的に行うべきである
- (2) 企業や学校・病院などにとって過度な負担とならないように考慮して行うべきである
- (3) 企業や学校・病院などは行う必要はない
- (4) わからない

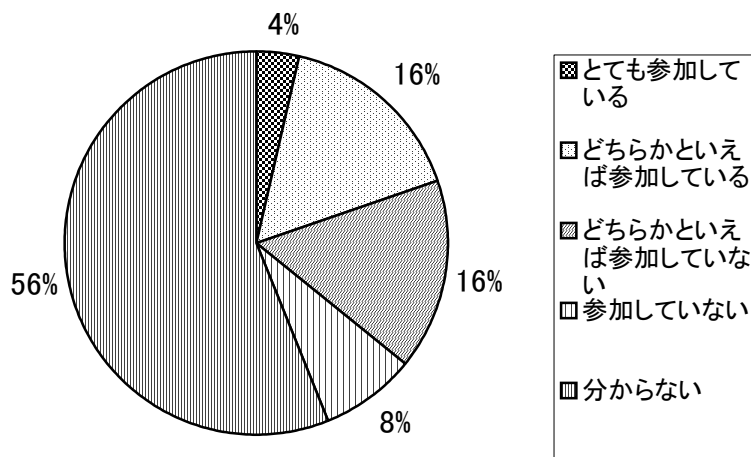


積極的	440
行うべき	280
必要なし	5
分からない	52
合計	777人

図14 従業員への配慮

Q15. あなたの住む町内の地域行事（体育祭、文化祭、清掃活動等）において、障害のある人は参加していますか？

- (1) とても参加している
- (2) どちらかといえば、参加している
- (3) どちらかといえば、参加していない
- (4) 参加していない
- (5) 分からない

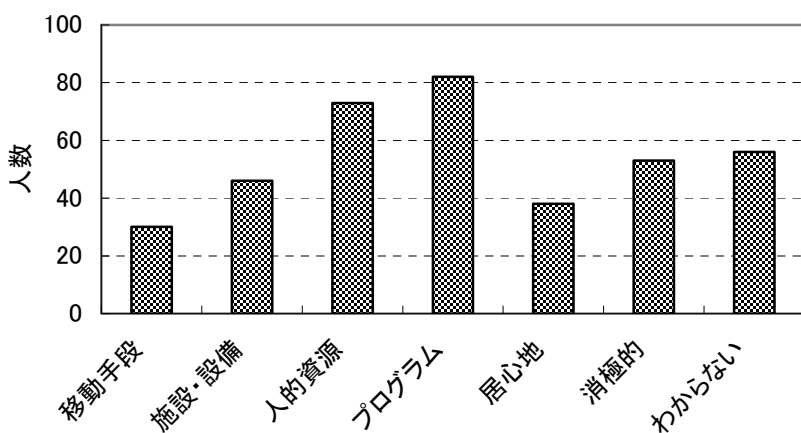


とても参加している	28
どちらかといえば参加している	125
どちらかといえば参加していない	126
参加していない	61
分からない	437
合計	777人

図15 地域行事

SQ15. 【Q15 で (3) または (4) とお答えの方】 障害のある人が地域行事に参加していない理由は何だと思いますか？（当てはまる全てに○）

- (1) 地域行事が行われる場所までの移動手段がない
- (2) 地域行事が行われる場所の施設・設備が使いづらい
- (3) 地域行事が行われる場所で支援してくれる人がいない
- (4) 地域行事に参加したいと思えるプログラムがない
- (5) 地域住民の理解がないために参加しても居心地が悪い
- (6) 地域住民と交流することに消極的
- (7) その他
- (8) わからない



移動手段	30
施設・設備	46
人的資源	73
プログラム	82
居心地	38
消極的	53
分からない	56
合計	378人

図15-1 地域行事に参加しない理由

Q16. あなたの家に近くに福祉施設（作業所、グループホーム等）ができることになりました。どう思いますか？

- (1) 賛同する
- (2) どちらかといえば、賛同する
- (3) どちらかといえば、賛同しない
- (4) 賛同しない
- (5) どちらとも言えない

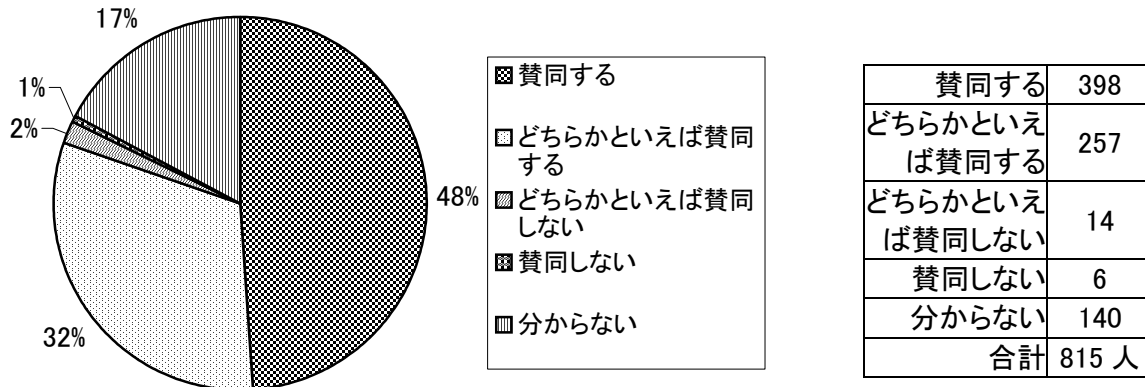


図16 福祉施設

Q17. あなたが障害のある人とかかわる際、嬉しいと思いますか？

- (1) 思う
- (2) やや思う
- (3) やや思わない
- (4) 思わない
- (5) どちらとも言えない

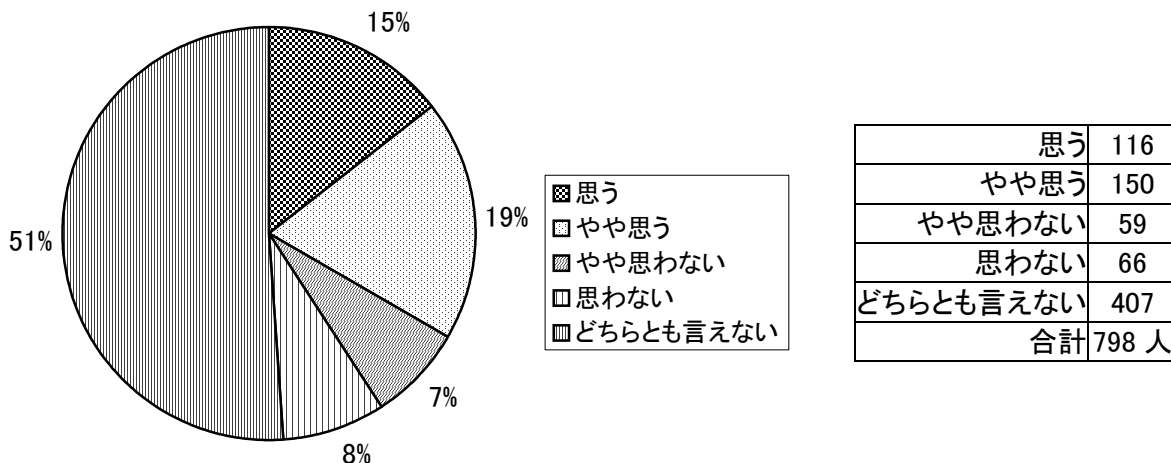
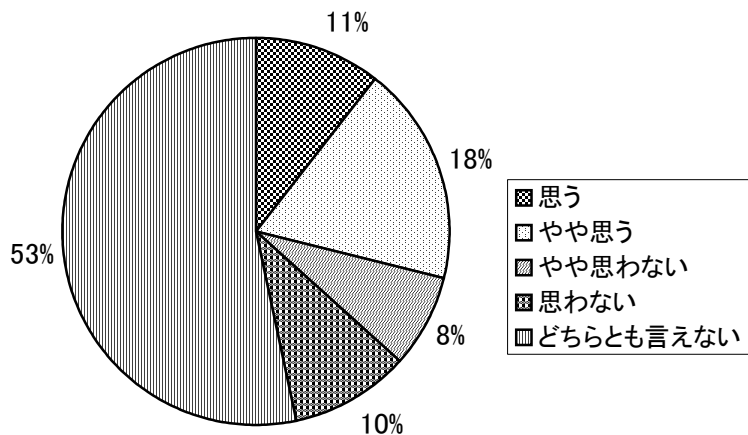


図17 感情(嬉しさ)

Q18. あなたが障害のある人とかかわる際、楽しいと思いますか？

- (1) 思う (2) やや思う (3) やや思わない (4) 思わない (5) どちらとも言えない

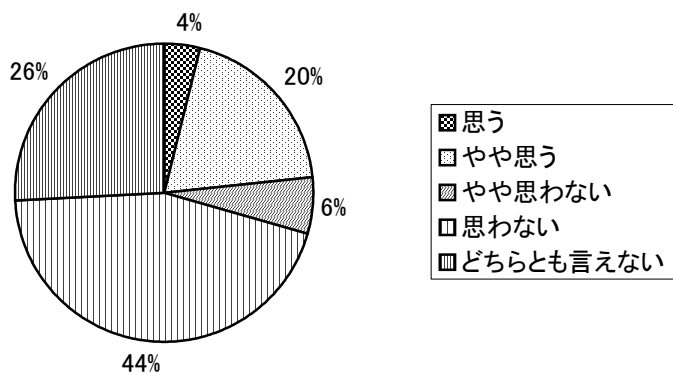


思う	85
やや思う	147
やや思わない	62
思わない	80
どちらとも言えない	429
合計	803人

図18 感情(楽しさ)

Q19. あなたが障害のある人とかかわる際、怖いと思いますか？

- (1) 思う (2) やや思う (3) やや思わない (4) 思わない (5) どちらとも言えない

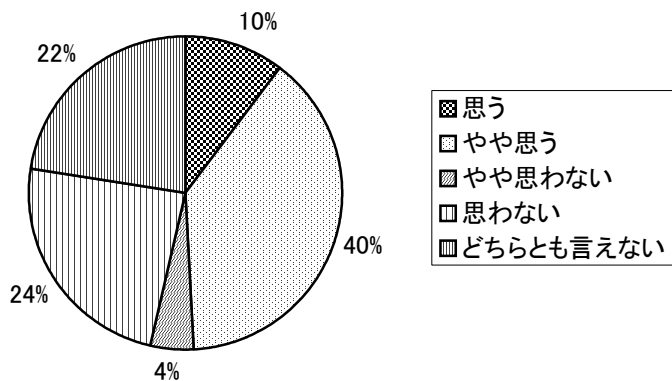


思う	31
やや思う	158
やや思わない	49
思わない	362
どちらとも言えない	208
合計	808人

図19 感情(怖さ)

Q20. あなたが障害のある人とかかわる際、不安といますか？

- (1) 思う (2) やや思う (3) やや思わない (4) 思わない (5) どちらとも言えない

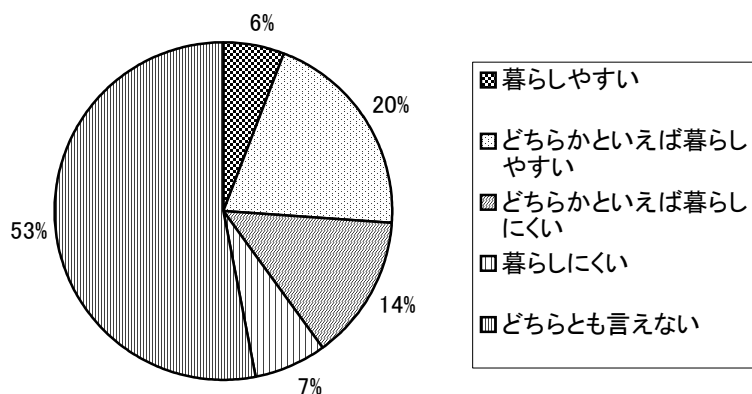


思う	84
やや思う	315
やや思わない	35
思わない	194
どちらとも言えない	182
合計	810人

図20 感情(不安)

Q21. あなたは、鳥栖市における障害者の暮らしやすさについてどう思いますか？

- (1) 暮らしやすい
 (2) どちらかといえば、暮らしやすい
 (3) どちらかといえば、暮らしにくい
 (4) 暮らしにくい
 (5) どちらとも言えない



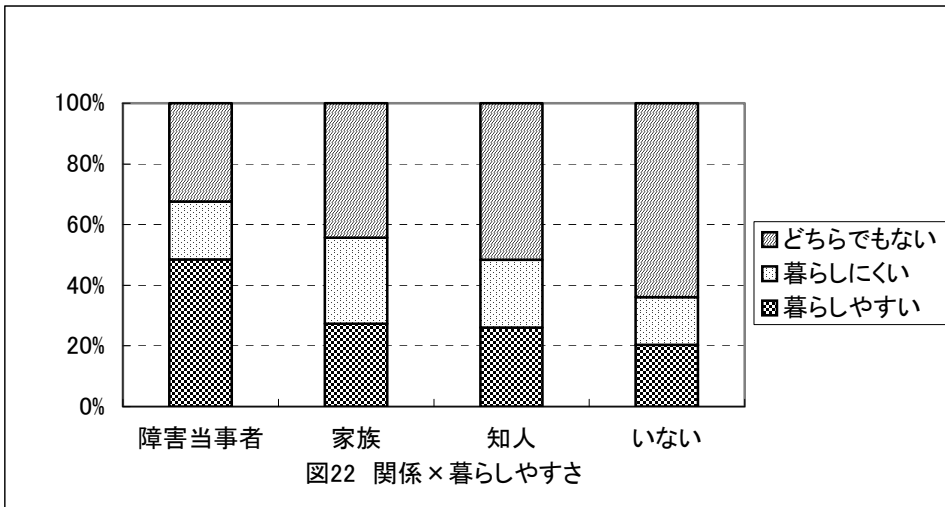
暮らしやすい	47
どちらかといえ ば暮らしやすい	162
どちらかといえ ば暮らしにくい	113
暮らしにくい	55
どちらとも言え ない	426
合計	803人

図21 暮らしやすさ

第3章. 調査結果の分析

<関係×暮らしやすさ>

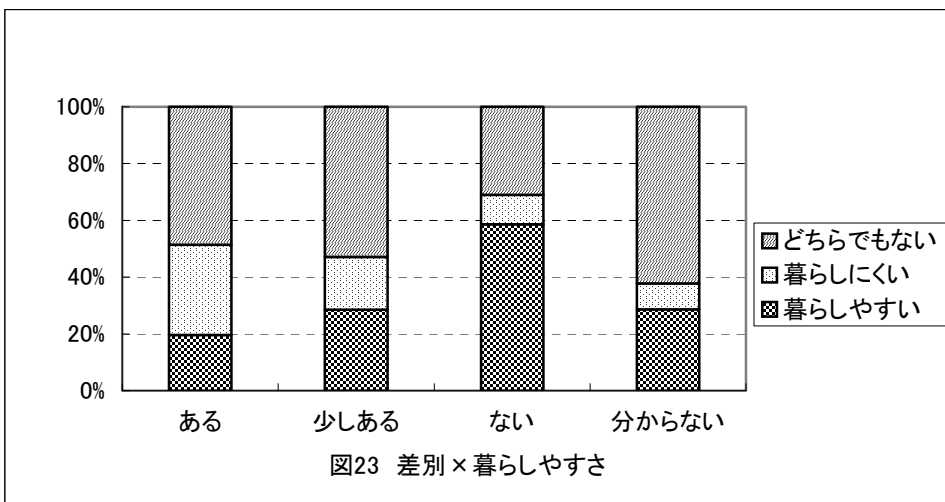
	障害当事者	家族	知人	いない
暮らしやすい	▲33	48	58	▽66
暮らしにくい	13	▲50	50	▽51
どちらでもない	▽22	▽78	115	▲207



<結果と考察> 「障害当事者」において「暮らしやすい」と答えた人が多く ($p<.01$)、「家族」において「暮らしにくい」と答えた人が多かった ($p<.01$)。また知り合いに障害のある人が「いない」と答えた人において、「暮らしやすい」「暮らしにくい」と答えた人が少なく ($p<.01$)、「どちらでもない」と答えた人が多かった ($p<.01$)。

<差別×暮らしやすさ>

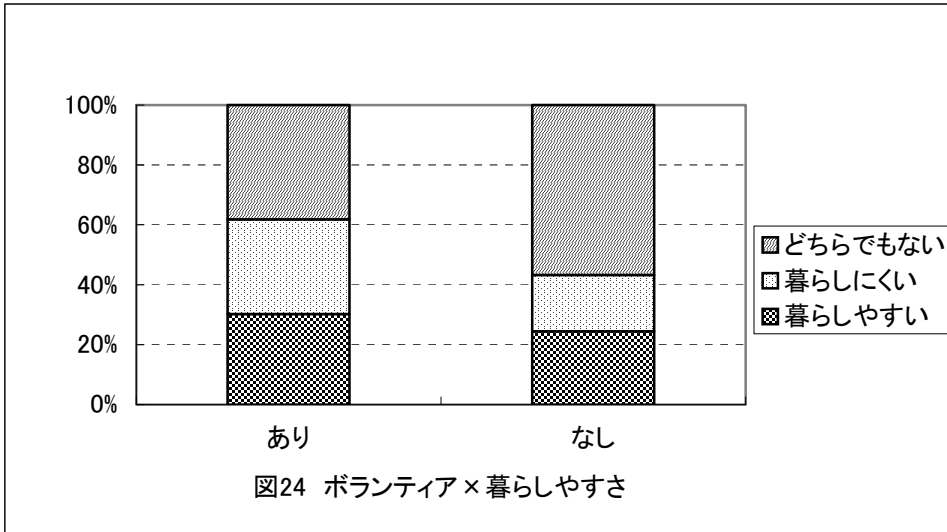
	ある	少しある	ない	分からない
暮らしやすい	▽50	94	▲17	41
暮らしにくい	▲81	61	3	▽13
どちらでもない	124	174	▽9	▲89



<結果と考察> 差別が「ある」と答えた人において「暮らしやすい」と答えた人が少なく ($p<.01$)、「暮らしにくい」と答えた人が多かった ($p<.01$)。また差別が「ない」と答えた人において、「暮らしやすい」と答えた人が多く ($p<.01$)、「どちらでもない」と答えた人が少なかった ($p<.05$)。また差別があるかどうか「わからない」と答えた人において「どちらでもない」と答えた人が多かった ($p<.01$)。

<ボランティア×暮らしやすさ>

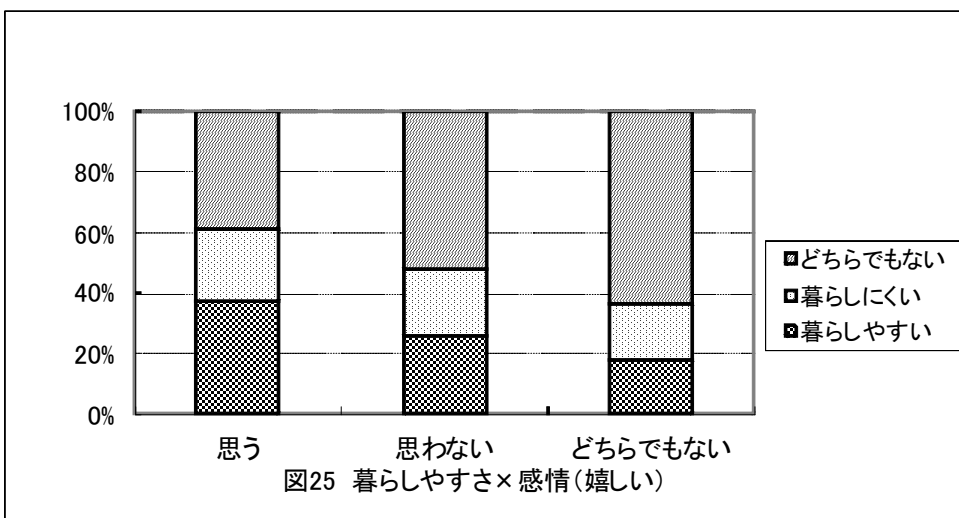
	あり	なし
暮らしやすい	42	160
暮らしにくい	▲44	▽123
どちらでもない	▽53	▲371



<結果と考察> ボランティア経験のある人において、「暮らしにくい」と答えた人が多く (p<.01)、ボランティア経験のない人において少なかった (p<.01)。この結果から、ボランティア経験者は、障害者の生活に触れることによって、障害者の暮らしにくさを感じているのかもしれない。

<暮らしやすさ×感情(嬉しい)>

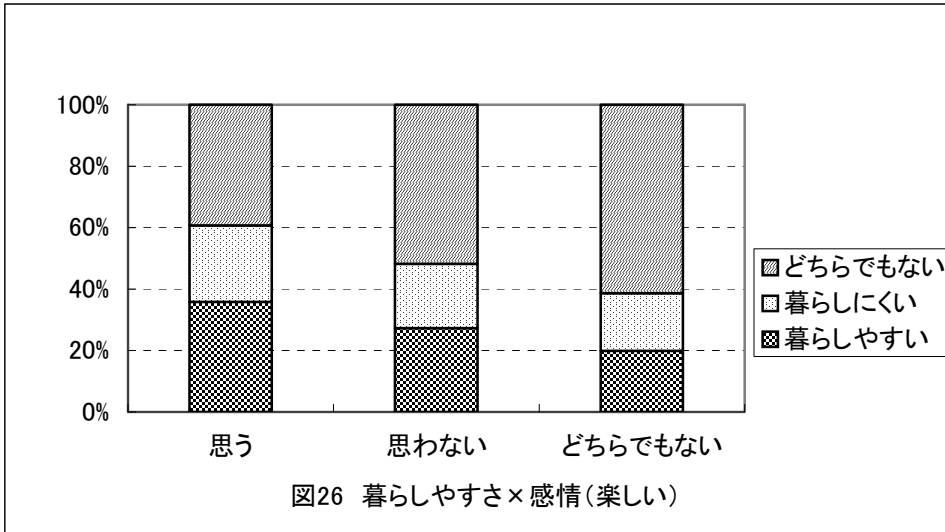
	思う	思わない	どちらでもない
暮らしやすい	▲97	32	▽72
暮らしにくい	62	27	75
どちらでもない	▽101	65	▲255



<結果と考察> 「暮らしやすい」と答えた人において、障害のある人とかかわることが嬉しいと「思う」と答えた人が多く (p<.01)、「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.01)。

<暮らしやすさ×感情(楽しい)>

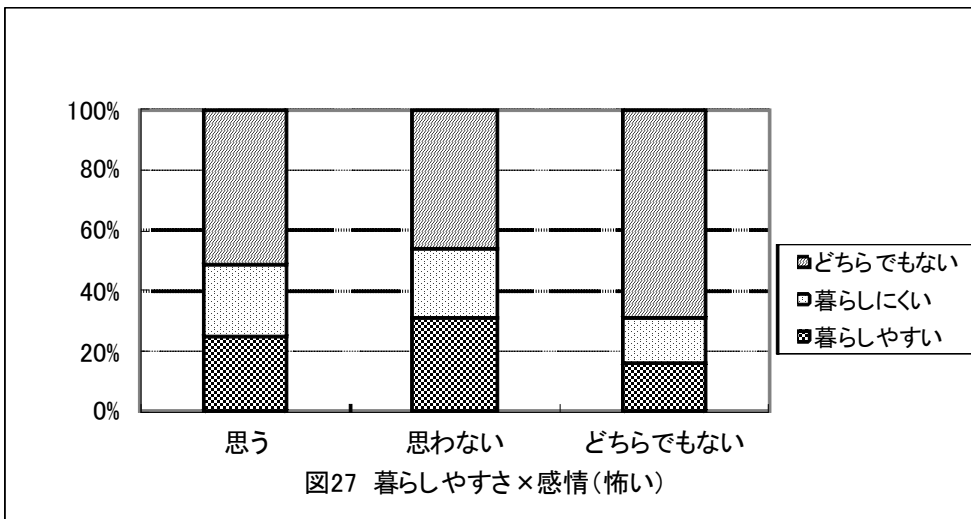
	思う	思わない	どちらでもない
暮らしやすい	▲82	38	▽84
暮らしにくい	57	29	79
どちらでもない	▽90	72	▲259



<結果と考察> 「暮らしやすい」と答えた人において、障害のある人とかかわることが楽しいと「思う」と答えた人が多く (p<.01)、「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.01)。

<暮らしやすさ×感情(怖い)>

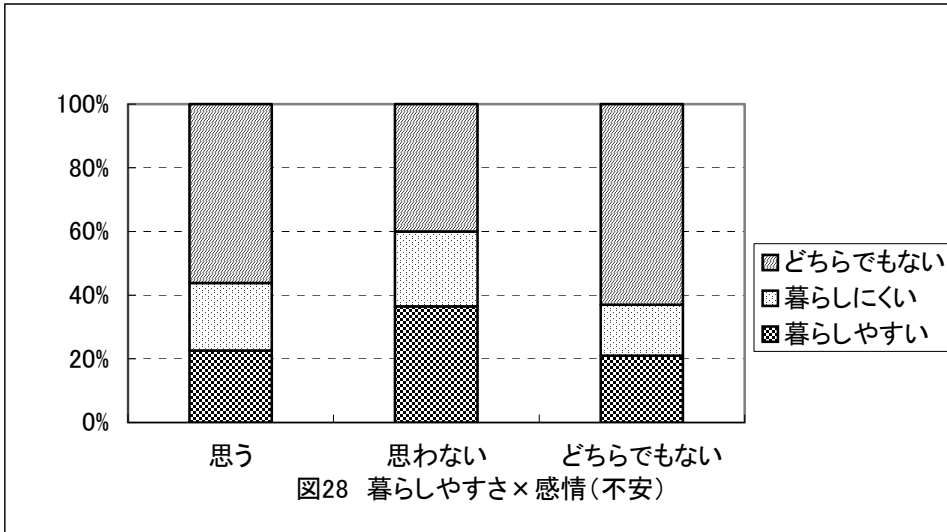
	思う	思わない	どちらでもない
暮らしやすい	46	▲125	▽34
暮らしにくい	43	94	▽30
どちらでもない	95	▽186	▲142



<結果と考察> 「暮らしやすい」と答えた人において、障害のある人とかかわることが怖いと「思わない」と答えた人が多く (p<.01)、「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.01)。

<暮らしやすさ×感情(不安)>

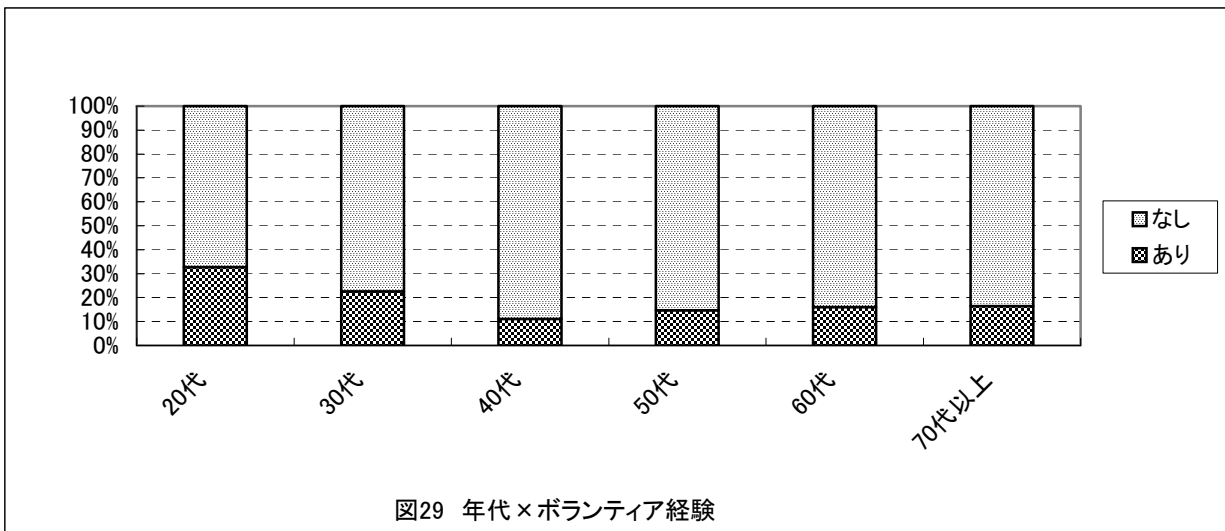
	思う	思わない	どちらでもない
暮らしやすい	▽88	▲82	38
暮らしにくい	83	53	29
どちらでもない	219	▽90	▲114



<結果と考察> 「暮らしやすい」と答えた人において、障害のある人とかかわることが不安に「思う」と答えた人が少なく (p<.05)、「思わない」と答えた人が多かった (p<.01)。

<年代×ボランティア>

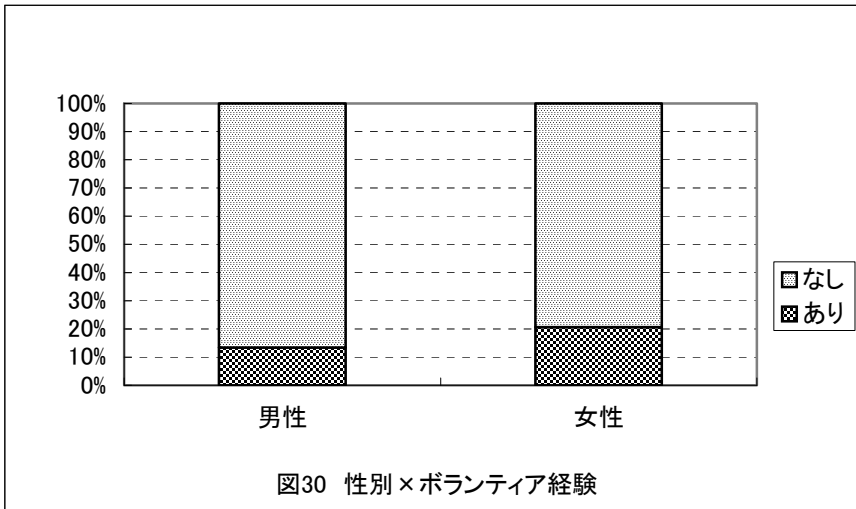
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
ボラ有無	あり	▲20	36	▽13	20	32	23
	なし	▽41	123	▲104	116	168	117



<結果と考察> 20代に経験者が多く (p<.01)、40代が少なかった (p<.05)。20代と40代の差については、未婚、既婚等の生活環境の要因や、若年層が学校教育の中で受けてきた福祉教育やボランティア推進の影響などが考えられる。

<性別×ボランティア>

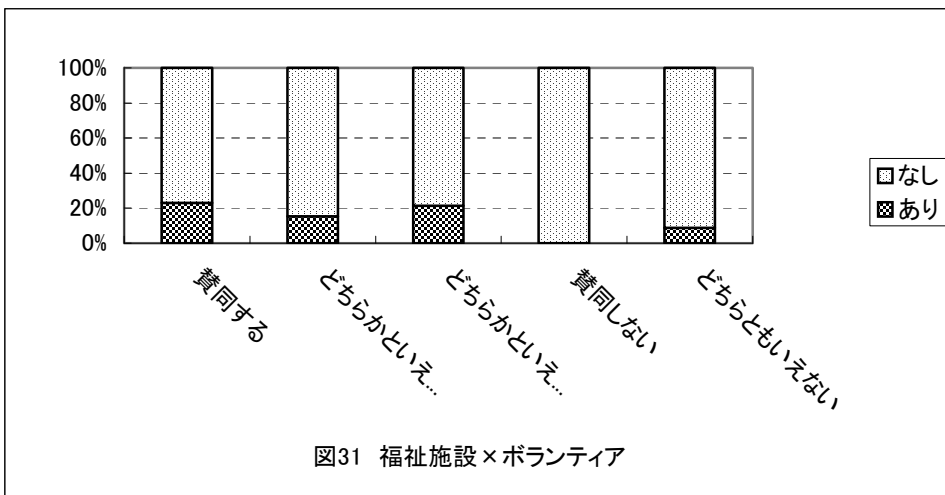
		男性	女性
ボラ有無	あり	▽46	▲94
	なし	▲296	▽361



<結果と考察> 男性よりも女性の方に経験者が多かった ($p < .01$)。この要因としては専業主婦等時間的に女性の方がボランティアに参加しやすいことも考えられるが、共働き家庭が増加していることを考慮すると他の要因があると推測される。

<福祉施設とボランティア>

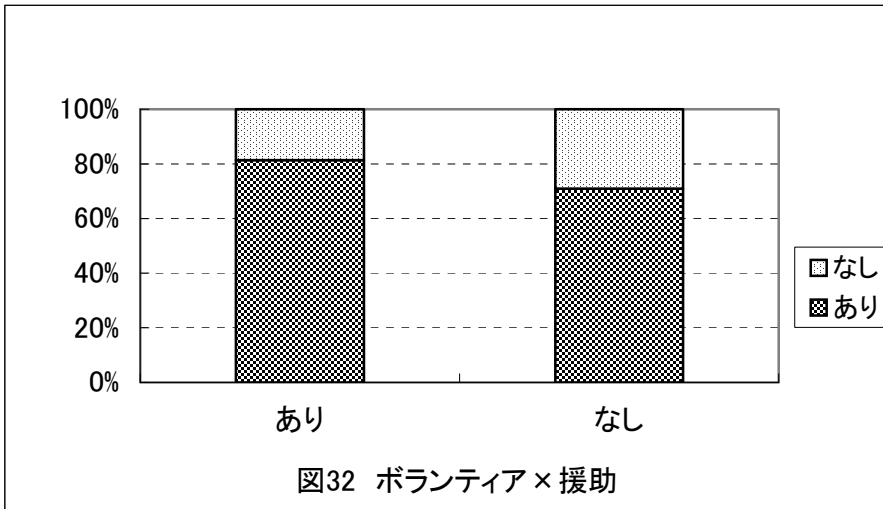
	賛同する	どちらかといえば賛同する	どちらかといえば賛同しない	賛同しない	どちらともいえない
あり	▲90	39	3	0	▽12
なし	▽301	216	11	6	▲126



<結果と考察> ボランティア経験者において賛同すると答えた人が多かった ($p < .01$)。またボランティア経験が「なし」と答えた人においては「どちらともいえない」と答えた人が多かった ($p < .01$)。この点については、障害者（児）もしくは障害というものについての関心のなさが現れているのかもしれない。

<ボランティア×援助行動>

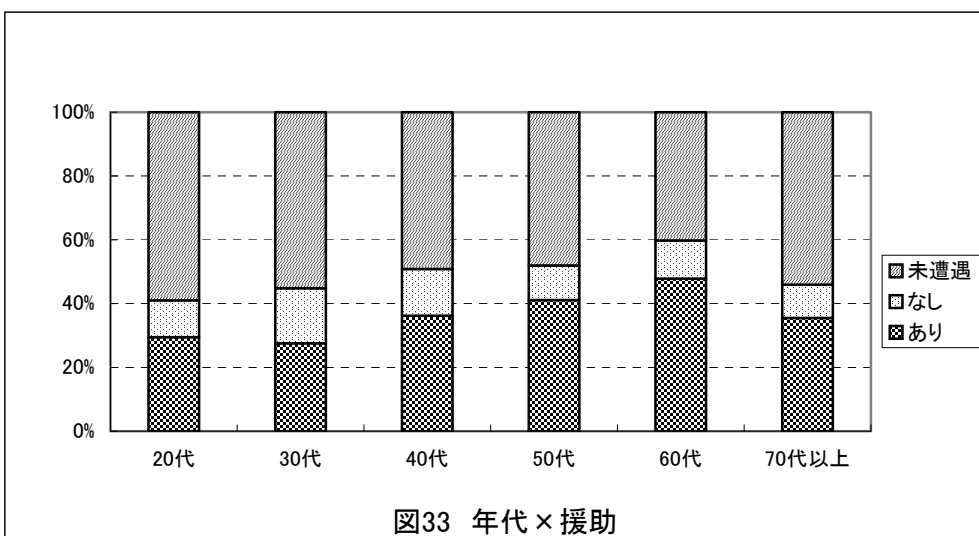
		ボラ有無	
		あり	なし
援助有無	あり	▲83	▽200
	なし	▽19	▲82



<結果と考察> ボランティア経験者において援助行動をしたことがある人が多く (p<.05)、ボランティア未経験者において援助行動をしたことがない人が多かった (p<.05)。

<年代別×援助行動>

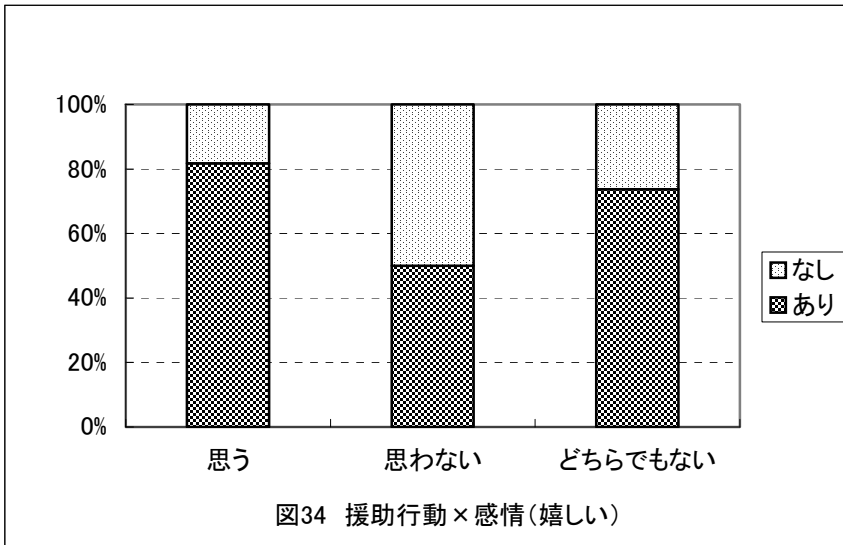
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
あり	18	▽43	42	53	▲88	44
なし	7	27	17	14	22	13
未遭遇	36	86	57	62	▽74	67



<結果と考察> 30代において援助行動をしたことがある人が少なく (p<.01)、60代において多かった (p<.01)。

<援助行動×感情(嬉しい)>

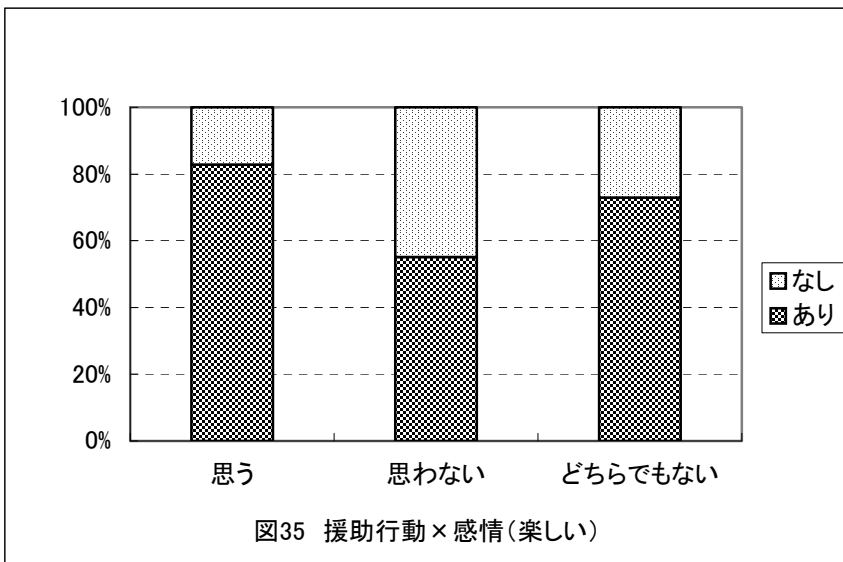
	思う	思わない	どちらでもない
あり	▲134	▽27	115
なし	▽30	▲27	41



<結果と考察> 援助行動経験ありの人において、障害者とかかわって嬉しいと「思う」と答えた人が多く (p<.01)、「思わない」と答えた人が少なかった (p<.01)。また援助行動経験なしの人において、障害者とかかわって嬉しいと「思う」と答えた人が少なく (p<.01)、「思わない」と答えた人が多かった (p<.01)。

<援助行動×感情(楽しい)>

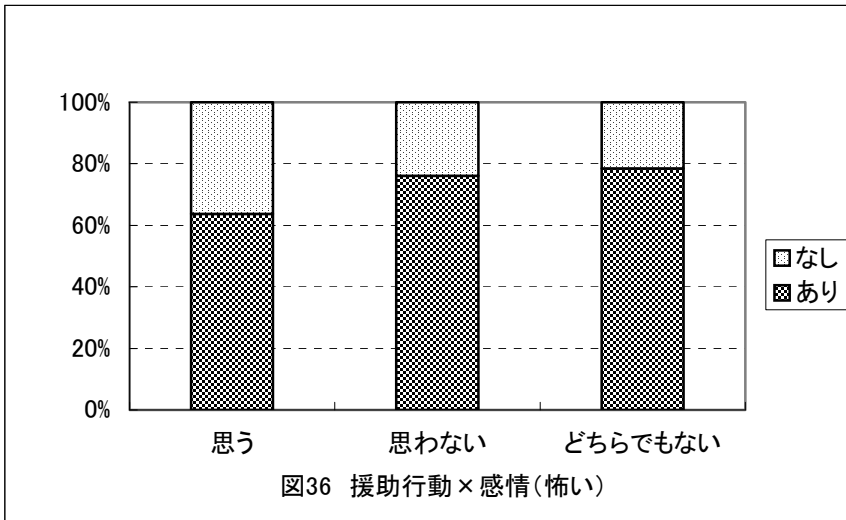
	思う	思わない	どちらでもない
あり	▲121	▽32	127
なし	▽25	▲26	47



<結果と考察> 援助行動経験ありの人において、障害者とかかわって楽しいと「思う」と答えた人が多く (p<.01)、「思わない」と答えた人が少なかった (p<.01)。また援助行動経験なしの人において、障害者とかかわって楽しいと「思う」と答えた人が少なく (p<.01)、「思わない」と答えた人が多かった (p<.01)。

<援助行動×感情(怖い)>

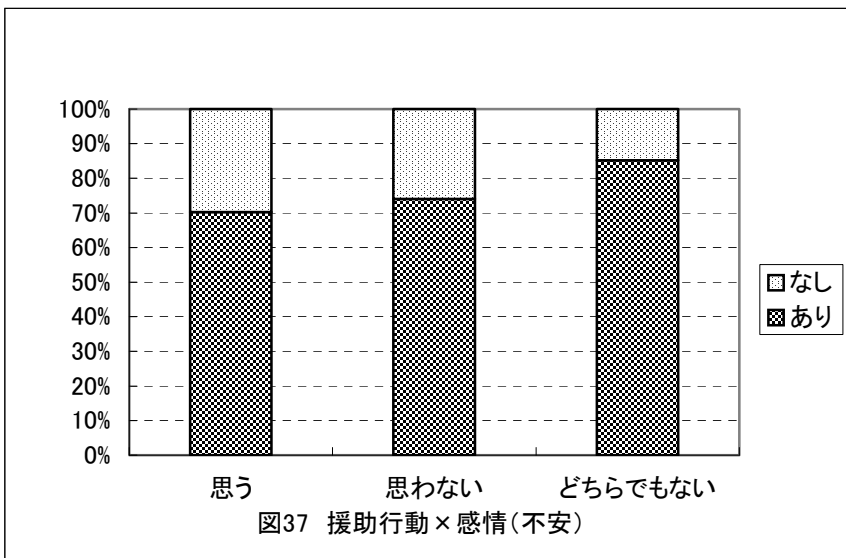
	思う	思わない	どちらでもない
あり	▽58	159	62
なし	▲33	50	17



<結果と考察> 援助行動経験ありの人において、障害者とかかわって怖いと「思う」と答えた人が少なく (p<.05)、援助行動経験なしの人において、障害者とかかわって怖いと「思う」と答えた人が多かった (p<.05)。

<援助行動と感情(不安)>

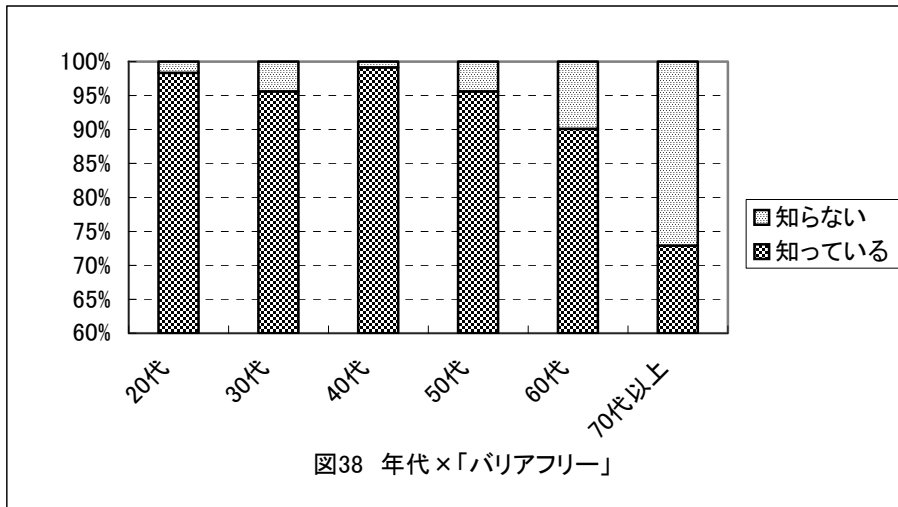
	思う	思わない	どちらでもない
あり	137	94	▲52
なし	58	33	▽9



<結果と考察> 援助行動経験ありの人において、「どちらでもない」と答えた人が多く (p<.05)、援助行動経験なしの人において、「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.05)。

<年代別×「バリアフリー」>

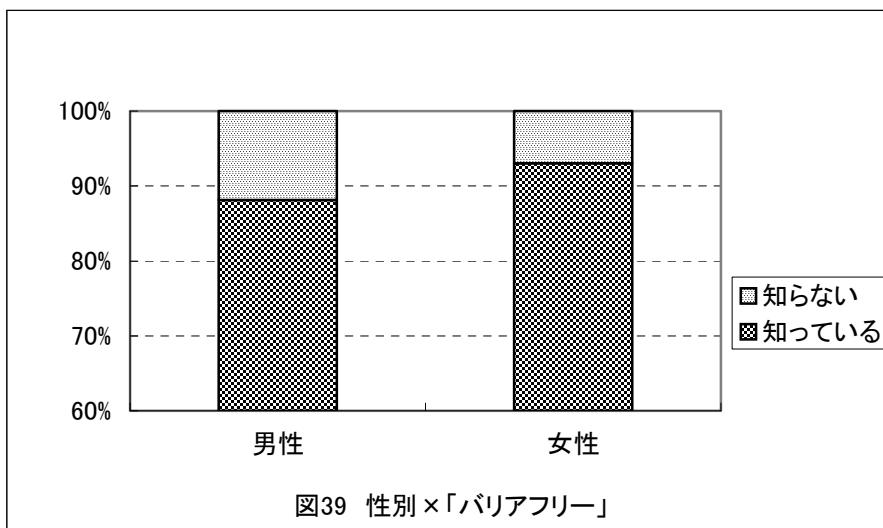
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
知っている	▲60	▲153	▲117	▲131	182	▽105
知らない	▽1	▽7	▽1	▽6	20	▲39



<結果と考察> 20代～50代まではバリアフリーに関する知識を持っている人が多かったが ($p < .05$)、70代以降は知識を持っていない人が多かった ($p < .01$)。

<性別×「バリアフリー」>

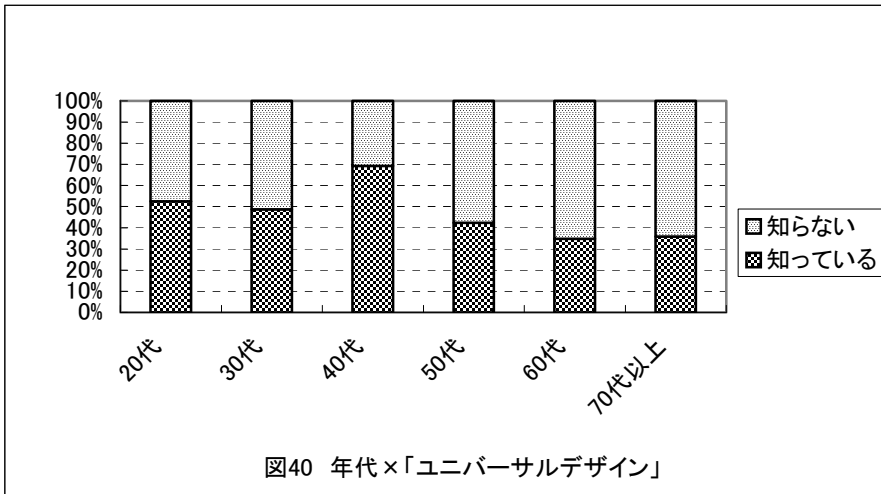
	男性	女性
知っている	▽305	▲428
知らない	▲41	▽32



<結果と考察> 男性よりも女性の方にバリアフリーに関する知識を持っている人が多かった ($p < .05$)

<年代別×「ユニバーサルデザイン」>

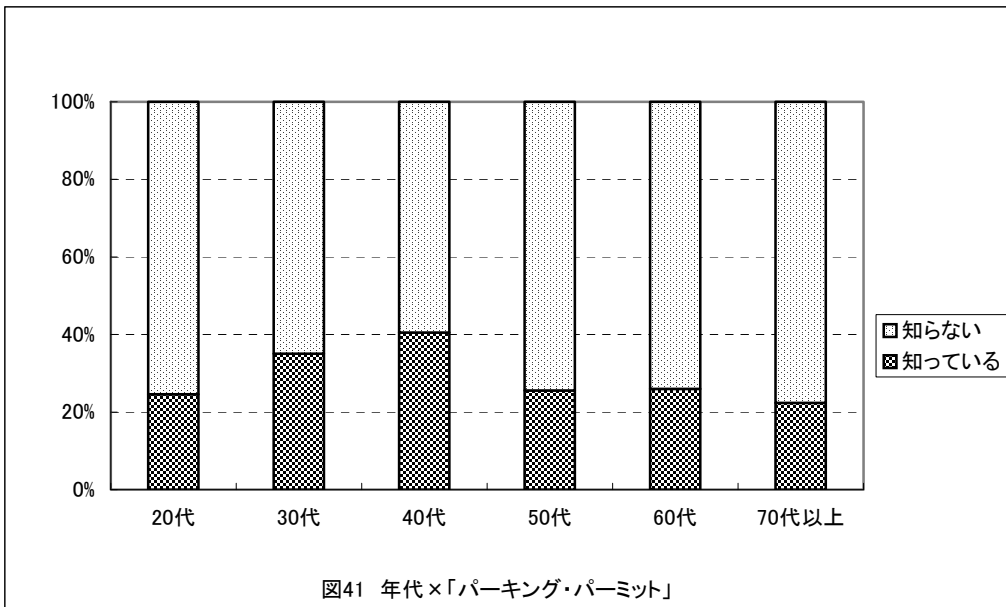
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
知っている	32	78	▲81	58	▽70	▽51
知らない	29	82	▽36	79	▲131	▲91



<結果と考察> 40代にユニバーサルデザインに関する知識を持っている人が多く (p<.01)、60代以降において知識を持っている人が少なかった (p<.01)。

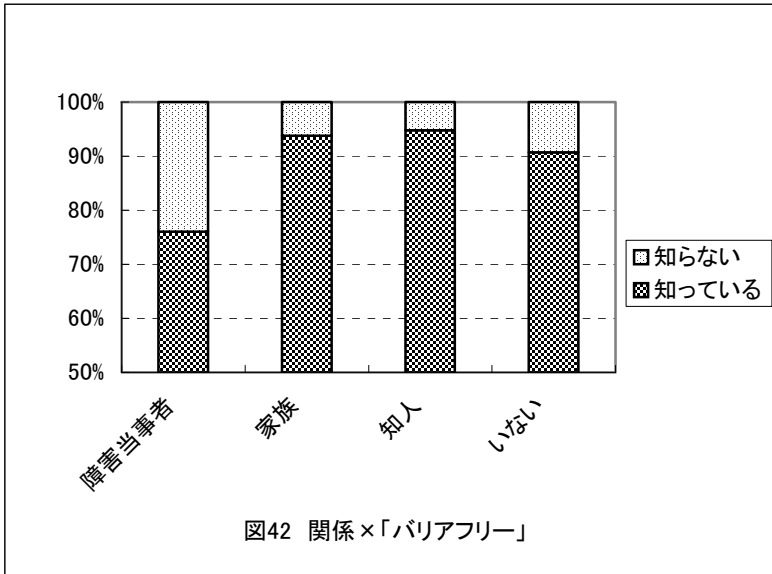
<年代別×「パーキング・パーミット」>

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
知っている	15	55	▲47	33	47	28
知らない	46	102	▽69	96	134	97



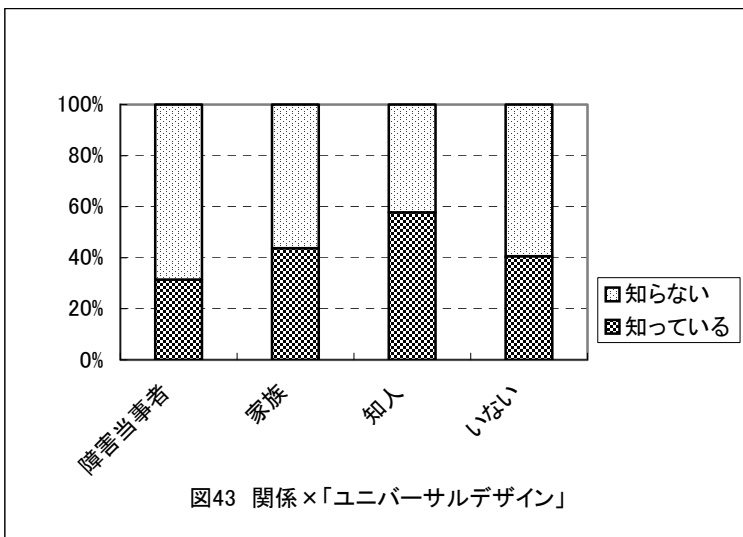
<結果と考察> 40代においてパーキング・パーミットに関する知識を持っている人が多かった (p<.01)。

<関係×「バリアフリー」>



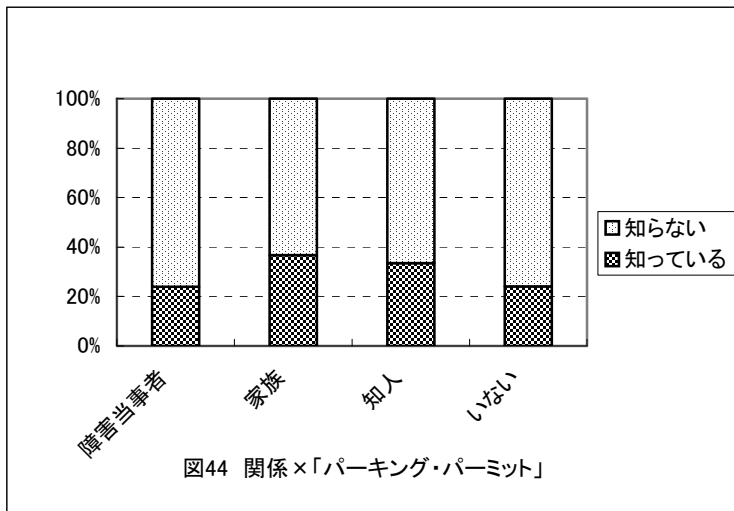
<結果と考察> 障害当事者においてバリアフリーに関する知識を持っている人が少なく ($p<.01$)、知らない人が多かった ($p<.01$)。また職場や友人に障害のある人がいる人において知っている人が多く ($p<.05$)、知らない人が少なかった ($p<.05$)。

<関係×「ユニバーサルデザイン」>



<結果と考察> 障害当事者においてユニバーサルデザインに関する知識を持っている人が少なく ($p<.05$)、知らない人が多かった ($p<.05$)。また職場や友人に障害のある人がいる人において知っている人が多く ($p<.01$)、知らない人が少なかった ($p<.01$)。知り合いに障害のある人がいない人においても、知っている人が少なく ($p<.05$)、知らない人が多かった ($p<.05$)。

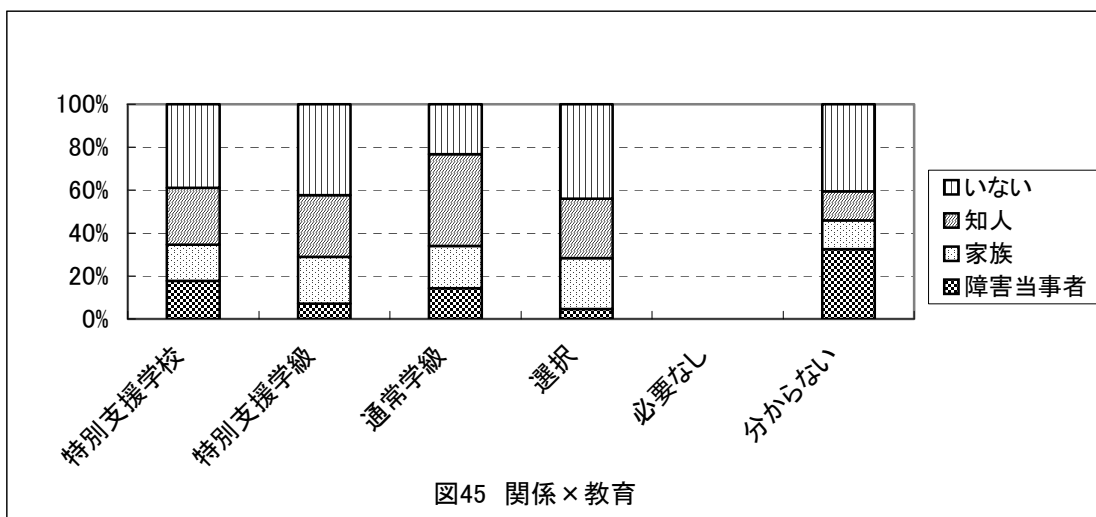
<関係×「パーキング・パーミット」>



<結果と考察> 「家族」においてパーキング・パーミットに関する知識を持っている人が多く (p<.05)、知らない人が少なかった (p<.05)。知り合いに障害のある人が「いない」人においては、知っている人が少なく (p<.01)、知らない人が多かった (p<.01)。この結果から推測されることは、パーキング・パーミットを利用する対象者が実際に車を運転する人であり、障害を持つ人を援助する人、つまり家族が最もパーキング・パーミットを利用している可能性が高く、このような結果につながったのではないかと考える。

<関係×教育>

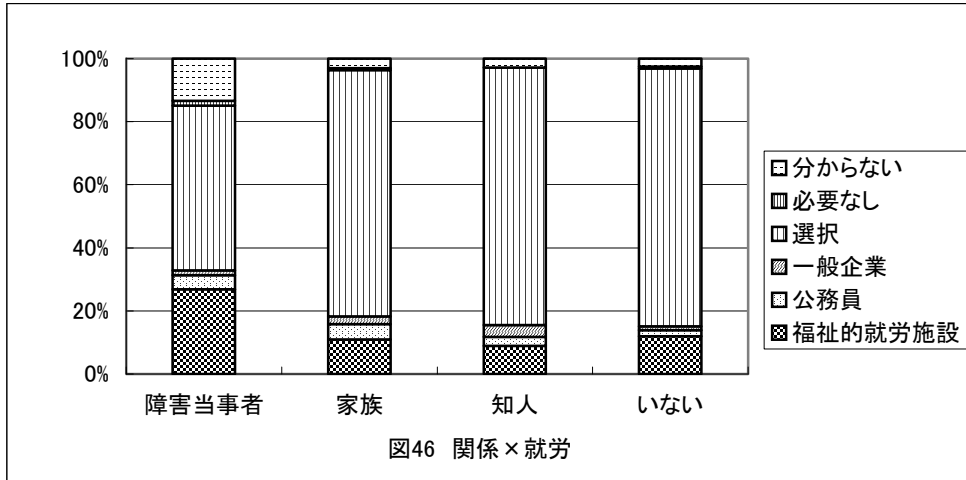
	特別支援学校	特別支援学級	通常学級	選択	必要なし	分からない
障害当事者	▲20	7	8	▽21	0	▲12
家族	19	21	11	109	0	5
知人	30	28	▲24	127	0	▽5
いない	44	41	▽13	202	0	15



<結果と考察> 障害当事者において教育環境について特別支援学校がよいと答えた人が多く (p<.01)、選択するのがよいと答えた人が少なかった (p<.01)。またわからないと答えた人も多かった (p<.01)。職場や友人に障害のある人がいる人においては通常学級と答えた人が多く (p<.05)、知り合いに障害のある人がいない人においては通常学級と答えた人は少なかった (p<.01)。この結果から推測されるのは、障害当事者はすでに学校教育を終了した人が本調査の対象者となっているため、特別支援学校で個別に配慮された環境の中で教育を受けてきた経験からの結果かもしれない。

<関係×就労>

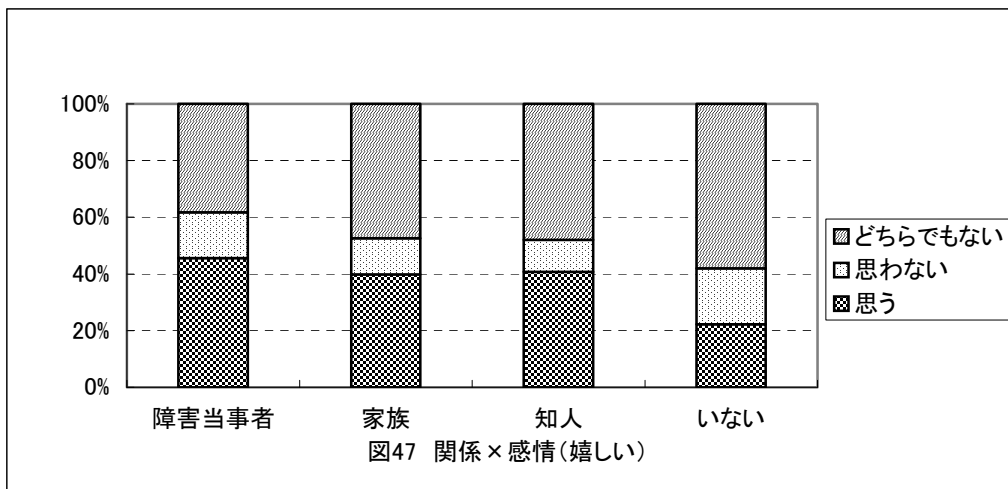
	福祉的就労施設	公務員	一般企業	選択	必要なし	分からない
障害当事者	▲18	3	1	▽35	1	▲9
家族	18	8	4	128	1	5
知人	19	6	8	173	0	6
いない	38	6	4	259	2	8



<結果と考察> 障害当事者において「福祉的就労施設」と答えた人が多く ($p<.01$)、「選択」と答えた人は少なかった ($p<.01$)。この結果は、障害当事者が福祉的就労を要望しているケースが多いのか、一般就労の困難さを感じているためなのかはわからない。後者であるならば一般企業、または国や地方自治体などが障害者の就労環境の整備をする必要がある。

<関係×感情(嬉しい)>

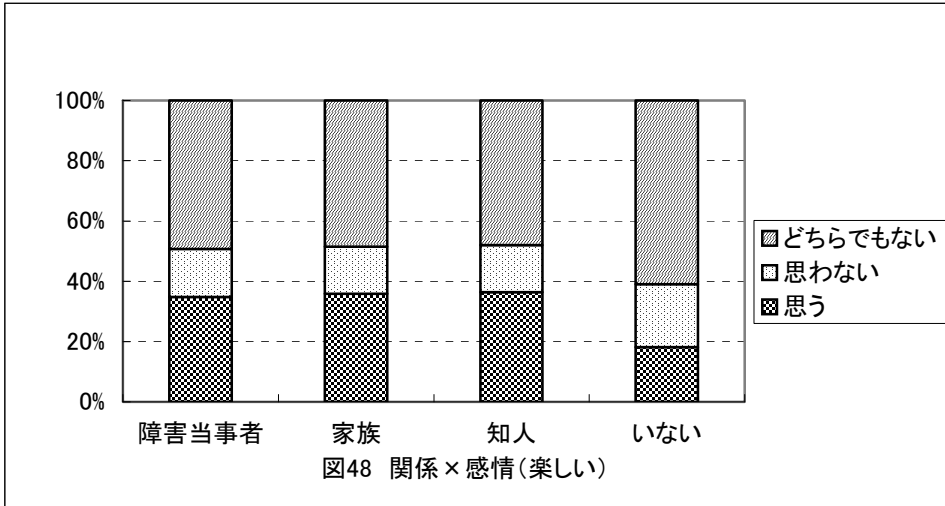
	思う	思わない	どちらでもない
障害当事者	▲31	11	▽26
家族	▲69	22	82
知人	▲90	▽25	106
いない	▽72	▲64	▲188



<結果と考察> 「障害当事者」($p<.05$)、「家族」($p<.05$)、「知人」($p<.01$)において嬉しいと「思う」に答えた人が多く、知り合いに障害のある人が「いない」人において「思う」と答えた人は少なかった ($p<.01$)。また知り合いに障害のある人がいない人は「思わない」「どちらでもない」と答えた人が多かった ($p<.01$)。

<関係×感情（楽しい）>

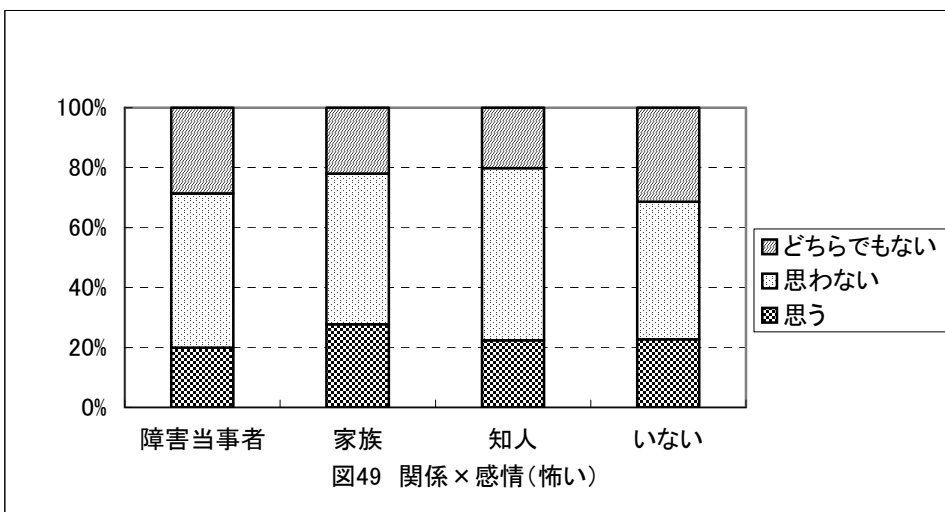
	思う	思わない	どちらでもない
障害当事者	24	11	34
家族	▲62	27	84
知人	▲82	35	▽108
いない	▽59	68	▲198



<結果と考察> 「家族」(p<.05)、「知人」(p<.01)において楽しいと「思う」に答えた人が多く、「いない」と答えた人においては少なかった (p<.01)。また「どちらでもない」と答えた人は「知人」で少なく (p<.05)、「いない」で多かった (p<.01)。

<関係×感情（怖い）>

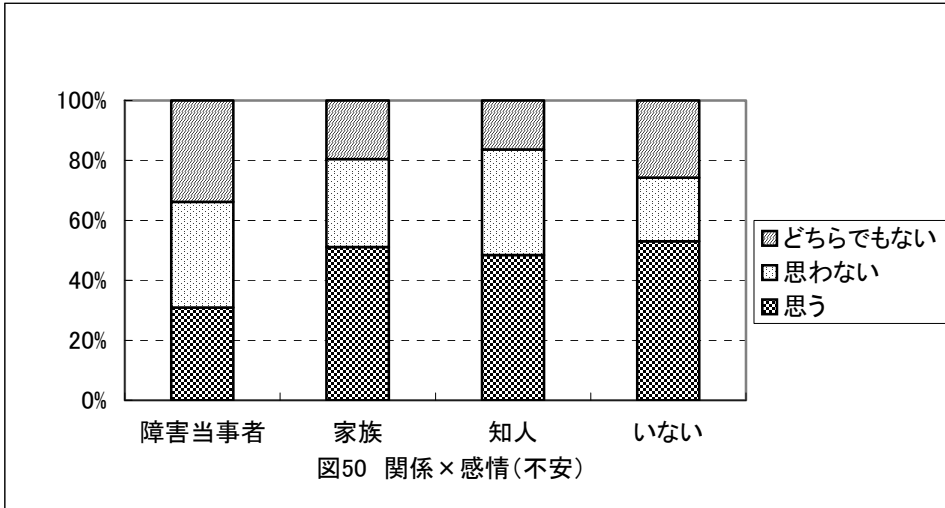
	思う	思わない	どちらでもない
障害当事者	14	36	20
家族	48	87	38
知人	51	▲131	▽46
いない	74	▽149	▲102



<結果と考察> 「知人」において怖いと「思わない」と答えた人が多く (p<.05)、「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.05)。また「いない」と答えた人において「思わない」と答えた人が少なく (p<.05)、「どちらでもない」と答えた人が多かった (p<.01)。

<関係×感情(不安)>

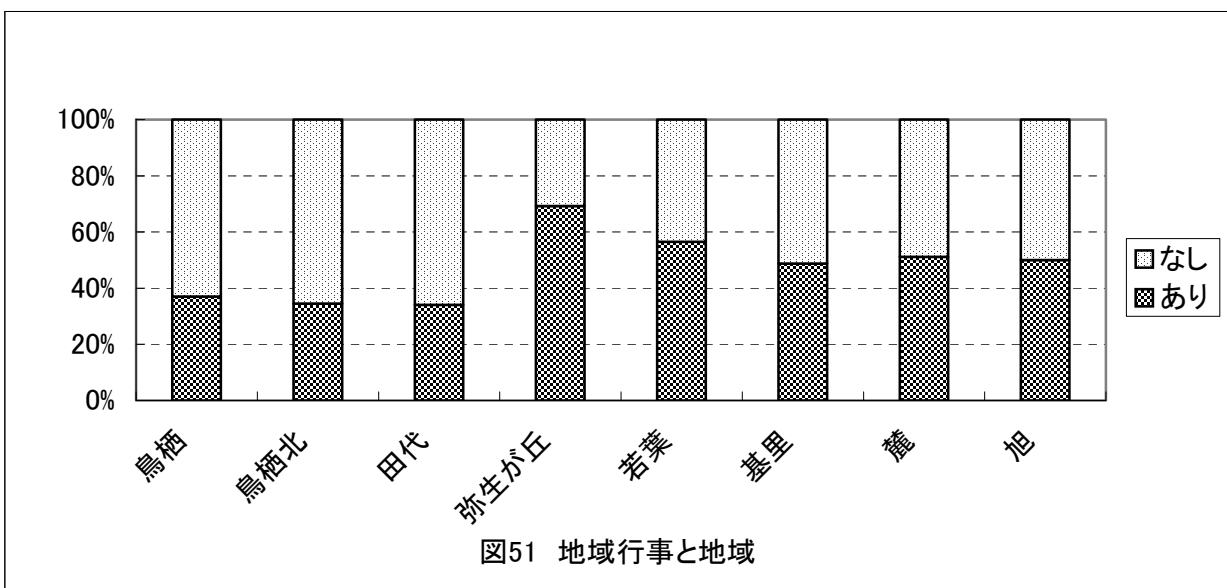
	思う	思わない	どちらでもない
障害当事者	22	25	▲24
家族	89	51	34
知人	110	▲80	▽37
いない	173	▽69	84



<結果と考察> 「障害当事者」において「どちらでもない」と答えた人が多かった (p<.05)。「知人」において「思わない」と答えた人が多く (p<.01)、「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.01)。また「いない」と答えた人において「思わない」と答えた人が少なかった (p<.01)。

<地域行事×地域>

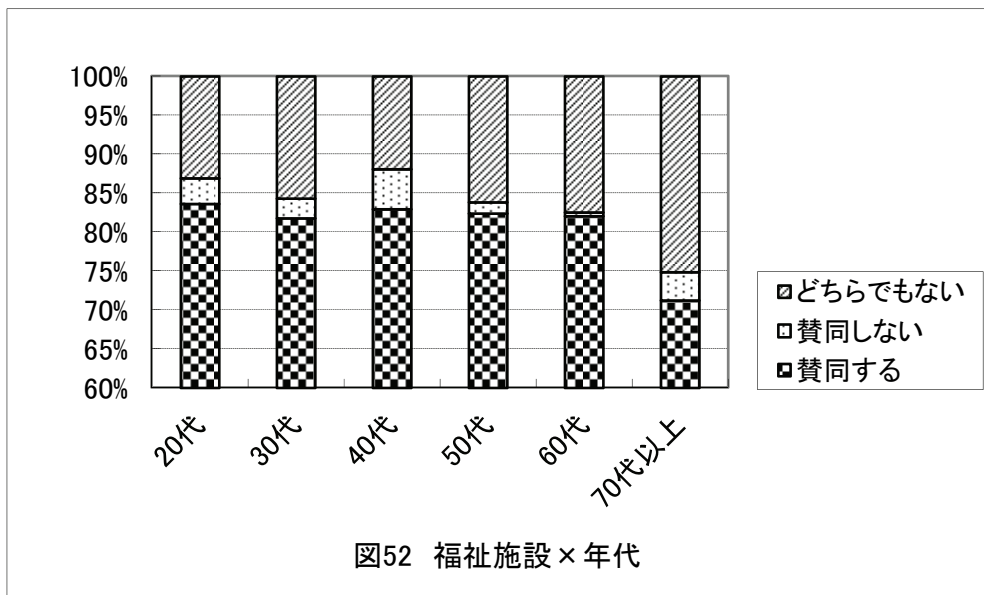
	鳥栖	鳥栖北	田代	弥生が丘	若葉	基里	麓	旭
あり	30	10	17	▲18	13	20	22	23
なし	51	19	33	▽8	10	21	21	23



<結果と考察> 弥生が丘地区において障害児(者)が地域行事に参加している人が多いと思っている人が多かった (p<.05)。

<福祉施設×年代別>

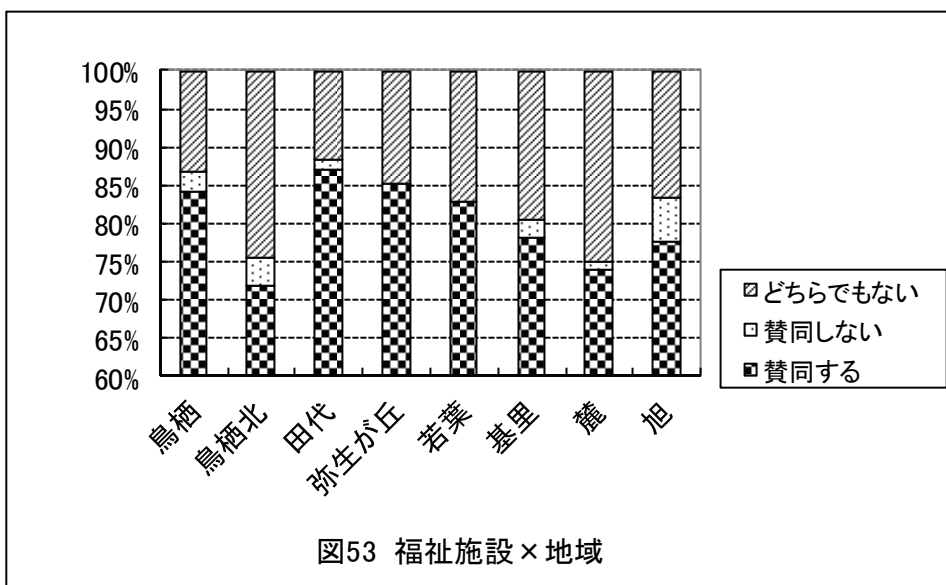
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
賛同する	51	130	97	112	164	▽99
賛同しない	2	4	▲6	2	▽1	5
どちらでもない	8	25	14	22	35	▲35



<結果と考察> 40代において福祉施設建設に「賛同しない」と答えた人が多く ($p < .05$)、70代以上において「賛同する」と答えた人が少なかった ($p < .01$)。60代においては「賛同しない」と答えた人が少なかった ($p < .05$)。

<福祉施設×地域>

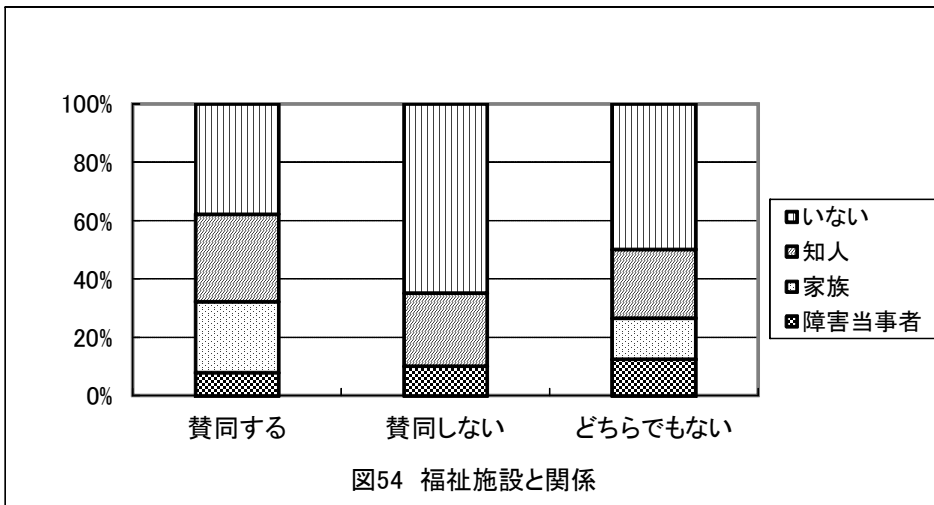
	鳥栖	鳥栖北	田代	弥生が丘	若葉	基里	麓	旭
賛同する	179	59	74	57	48	68	74	94
賛同しない	6	3	1	0	0	2	1	▲7
どちらでもない	28	20	10	10	10	17	▲25	20



<結果と考察> 旭地区において賛同しないと答えた人が多かった ($p < .05$)

<福祉施設×関係>

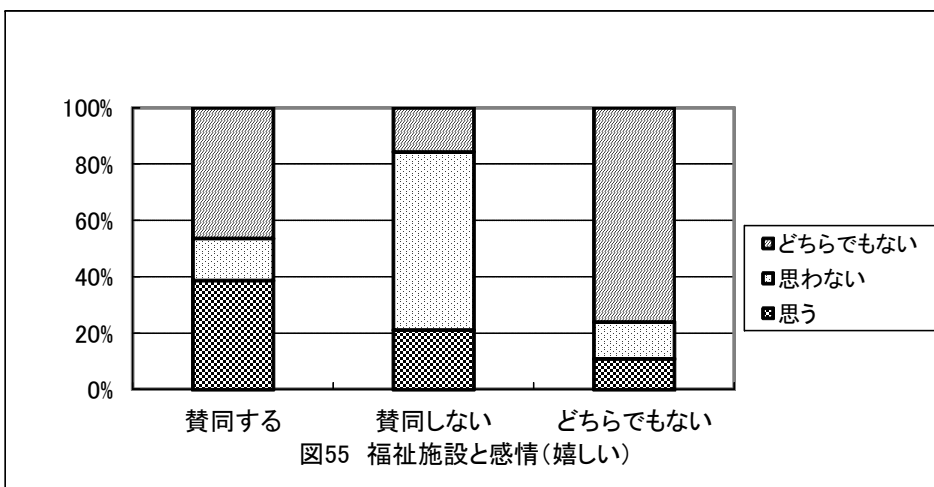
	障害当事者	家族	知人	いない
賛同する	51	▲157	193	▽245
賛同しない	2	▽0	5	▲13
どちらでもない	17	▽19	32	▲68



<結果と考察> 「家族」において「賛同する」と答えた人が多く (p<.01)、「賛同しない」「どちらでもない」と答えた人が少なかった (p<.05)。また「いない」と答えた人において「賛同する」と答えた人が少なく (p<.01)、「賛同しない」「どちらでもない」と答えた人が多かった (p<.05)。この結果から、福祉施設の必要性を高く感じているであろう家族の人は賛同し、必要性の低い人は賛同しない傾向にあるということが推測される。

<福祉施設×感情 (嬉しい)>

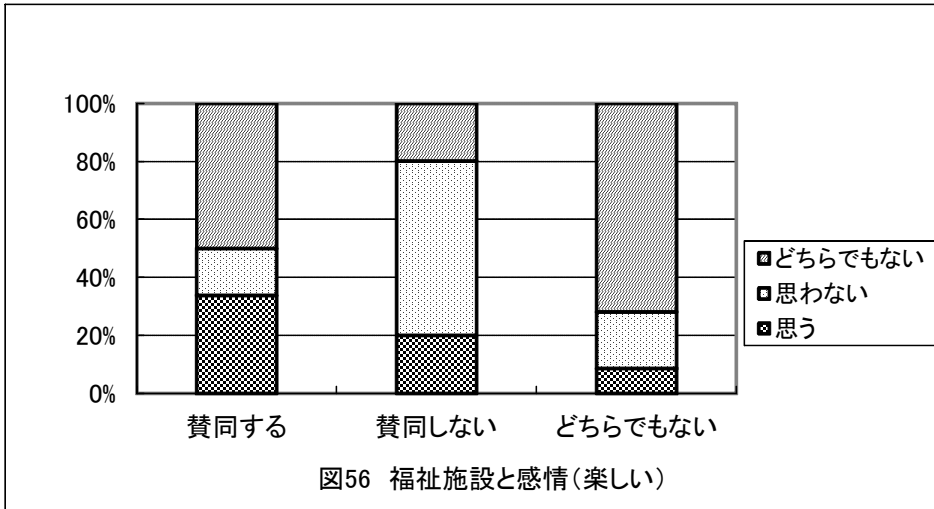
	思う	思わない	どちらでもない
賛同する	▲246	95	▽296
賛同しない	4	▲12	▽3
どちらでもない	▽15	18	▲105



<結果と考察> 「賛同する」と答えた人において嬉しいと「思う」と答えた人が多く (p<.01)、「賛同しない」と答えた人において「思わない」と答えた人が多かった (p<.01)。

<福祉施設×感情（楽しい）>

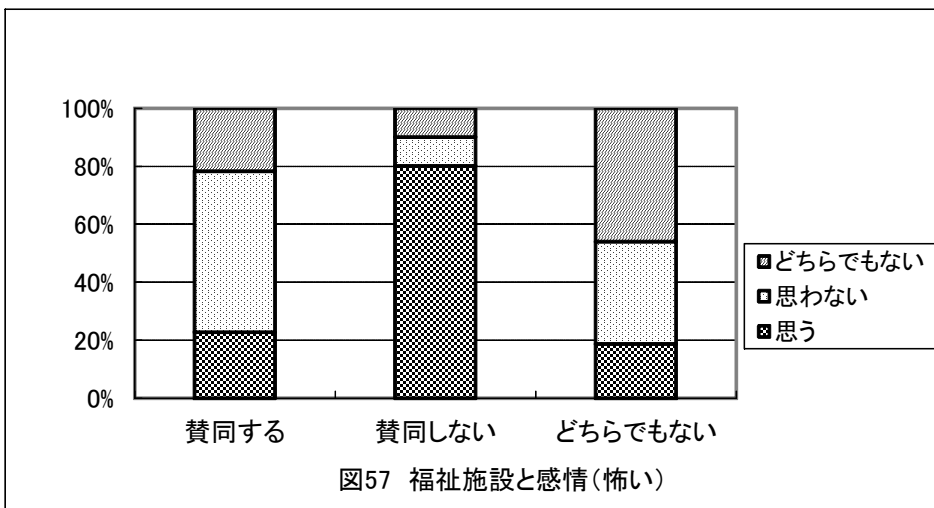
	思う	思わない	どちらでもない
賛同する	▲216	▽103	▽321
賛同しない	4	▲12	▽4
どちらでもない	▽12	27	▲100



<結果と考察> 「賛同する」と答えた人において楽しいと「思う」に答えた人が多く (p<.01)、「思わない」と答えた人が少なかった (p<.05)。また「賛同しない」と答えた人において楽しいと「思わない」と答えた人が多かった (p<.01)。

<福祉施設×感情（怖い）>

	思う	思わない	どちらでもない
賛同する	147	▲358	▽140
賛同しない	▲16	▽2	2
どちらでもない	26	▽49	▲64



<結果と考察> 「賛同する」と答えた人において怖いと「思わない」と答えた人が多く (p<.01)、「賛同しない」と答えた人において怖いと「思う」と答えた人が多かった (p<.01)。

<福祉施設×感情(不安)>

	思う	思わない	どちらでもない
賛同する	325	▲205	▽116
賛同しない	▲15	3	2
どちらでもない	59	▽20	▲61

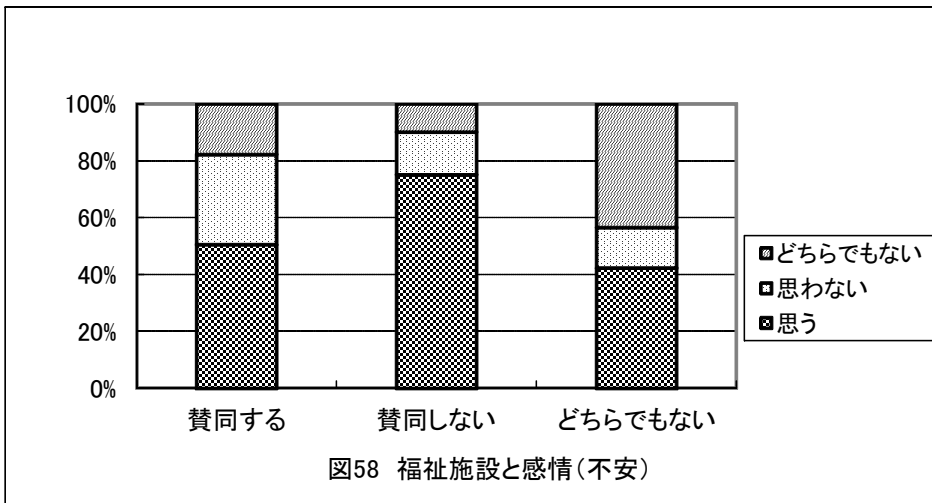


図58 福祉施設と感情(不安)

<結果と考察> 「賛同する」と答えた人において不安に「思わない」と答えた人が多く (p<.01)、「賛同しない」と答えた人において不安に「思う」と答えた人が多かった (p<.05)。

<感情(嬉しい)×ボランティア>

	思う	思わない	どちらでもない
あり	▲67	▽13	▽59
なし	▽195	▲111	▲344

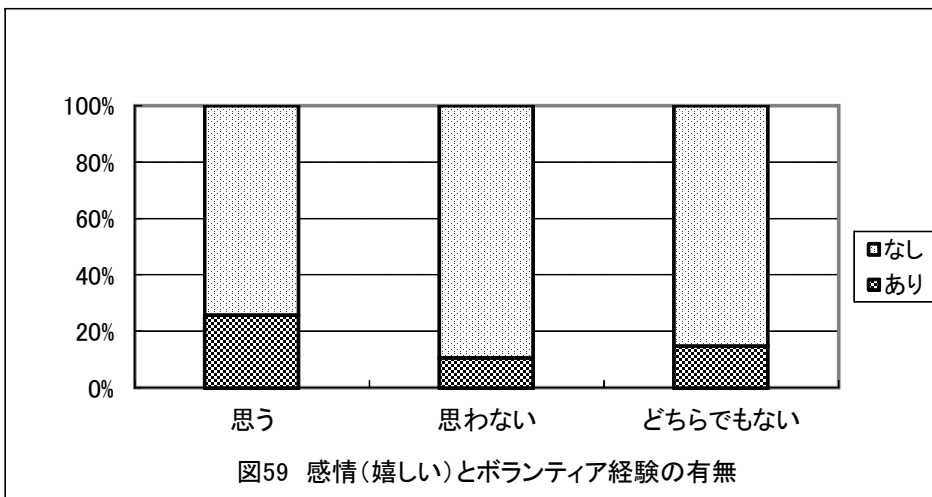
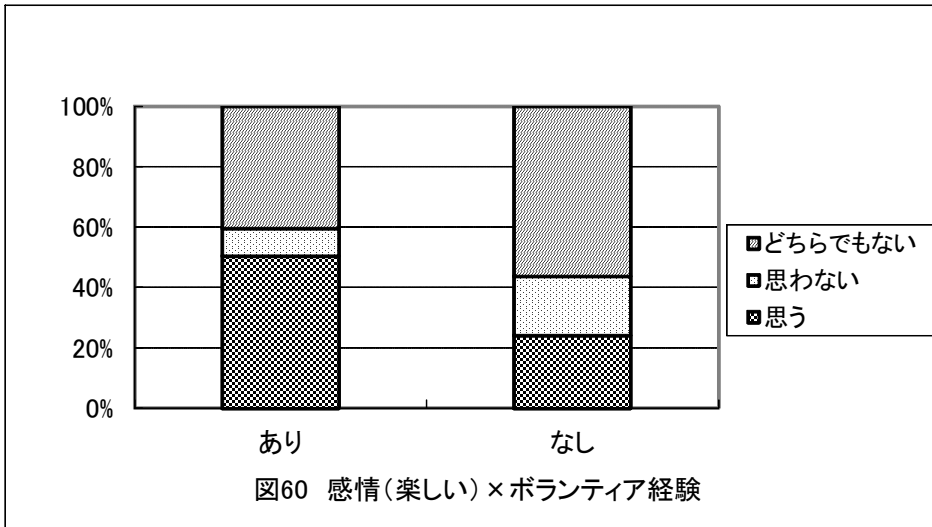


図59 感情(嬉しい)とボランティア経験の有無

<結果と考察> ボランティア経験者において嬉しいと感じている人が多く (p<.01)、未経験者において嬉しさを感じない人が多かった (p<.05)。また「どちらでもない」と答えた人は経験者が少なく (p<.05)、未経験者に多かった (p<.05)。

<感情（楽しい）×ボランティア>

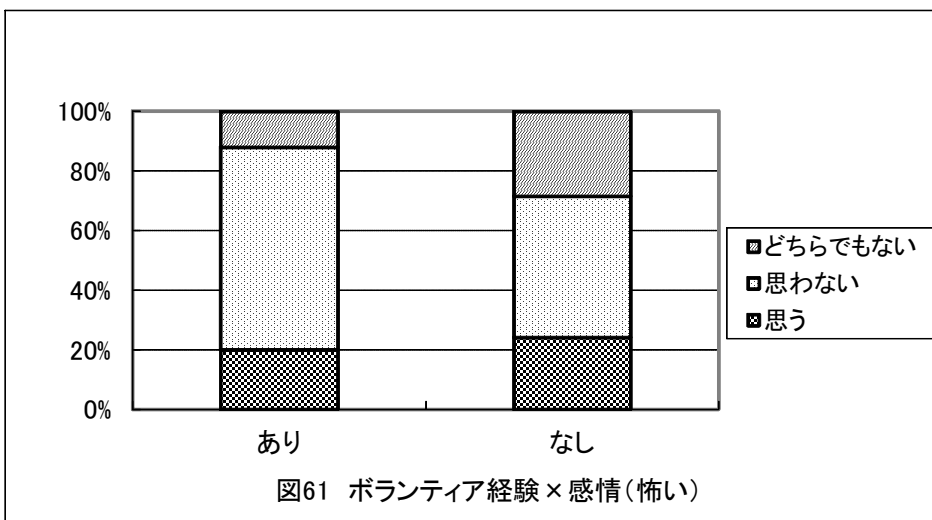
	思う	思わない	どちらでもない
あり	▲71	▽13	▽57
なし	▽157	▲127	▲368



<結果と考察> ボランティア経験のある人において楽しく「思う」と答えた人が多く ($p<.01$)、「思わない」「どちらでもない」と答えた人が少なかった ($p<.01$)。ボランティア経験のない人において、楽しく「思う」と答えた人が少なく ($p<.01$)、「思わない」「どちらでもない」と答えた人が多かった ($p<.01$)。

<感情（怖い）×ボランティア>

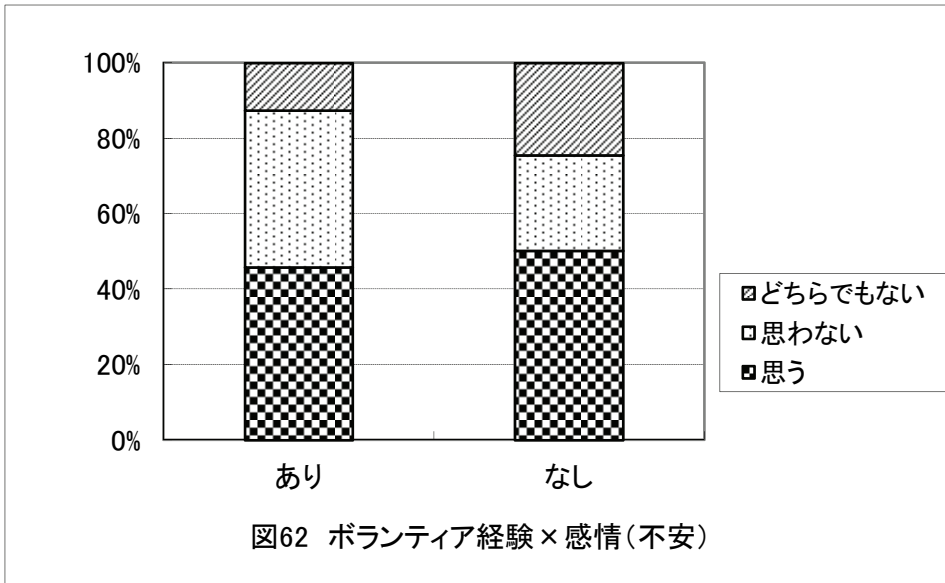
	思う	思わない	どちらでもない
あり	28	▲95	▽17
なし	158	▽311	▲188



<結果と考察> ボランティア経験のある人において怖いと「思わない」と答えた人が多く ($p<.01$)、ボランティア経験のない人において「思わない」と答えた人が少なかった ($p<.01$)。

<感情（不安）×ボランティア経験>

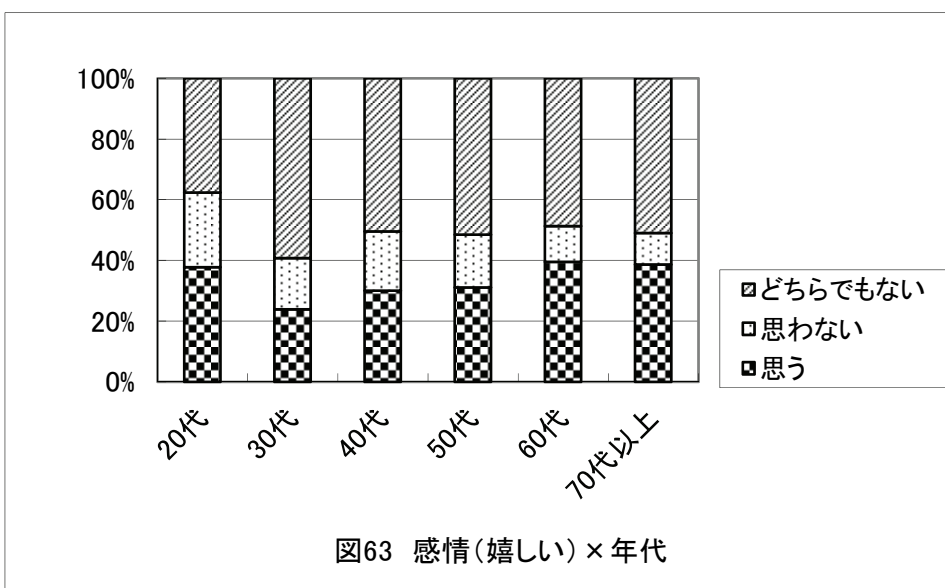
	思う	思わない	どちらでもない
あり	65	▲59	▽18
なし	329	▽167	▲161



<結果と考察> ボランティア経験のある人において不安に「思わない」と答えた人が多く (p<.01)、ボランティア経験のない人において「思わない」と答えた人が少なかった (p<.01)。

<年代別×感情（嬉しい）>

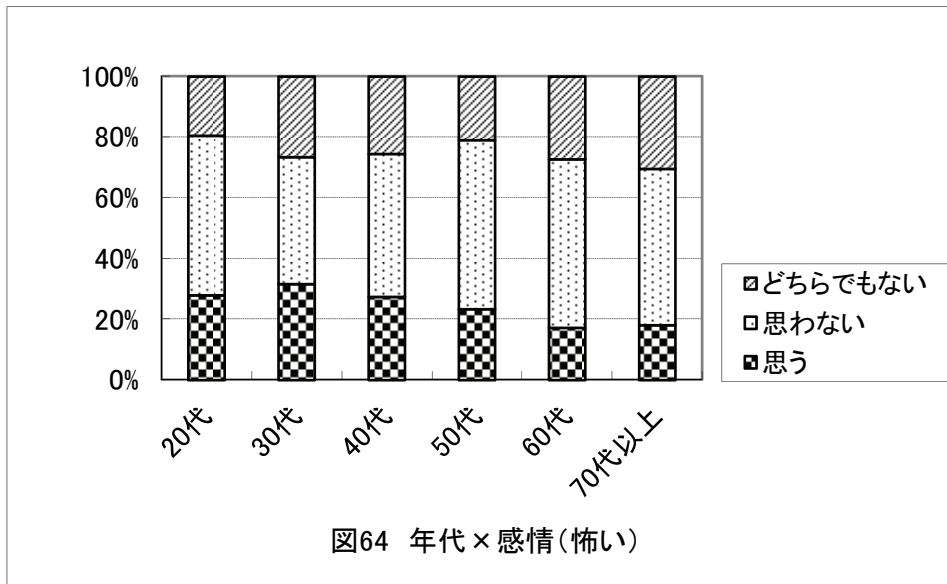
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
思う	23	▽37	35	41	▲77	52
思わない	▲15	26	23	23	23	14
どちらでもない	▽23	▲92	59	68	95	69



<結果と考察> 障害のある人とかかわることを嬉しいと「思う」人は30代に少なく (p<.01)、60代に多かった (p<.05)。また20代においては嬉しいと「思わない」人が多かった (p<.05)。

<年代別×感情(怖い)>

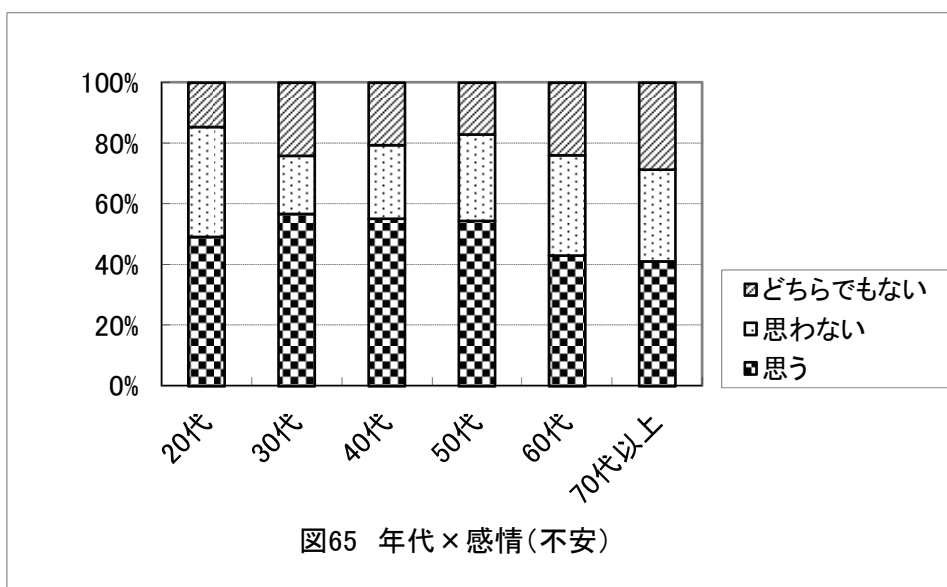
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
思う	17	▲50	32	31	▽34	25
思わない	32	▽66	55	74	110	71
どちらでもない	12	42	30	28	54	42



<結果と考察> 30代において怖いと「思う」と答えた人が多く (p<.01)、「思わない」と答えた人が少なかった (p<.05)。また60代において怖いと「思う」と答えた人が少なかった (p<.05)。

<年代別×感情(不安)>

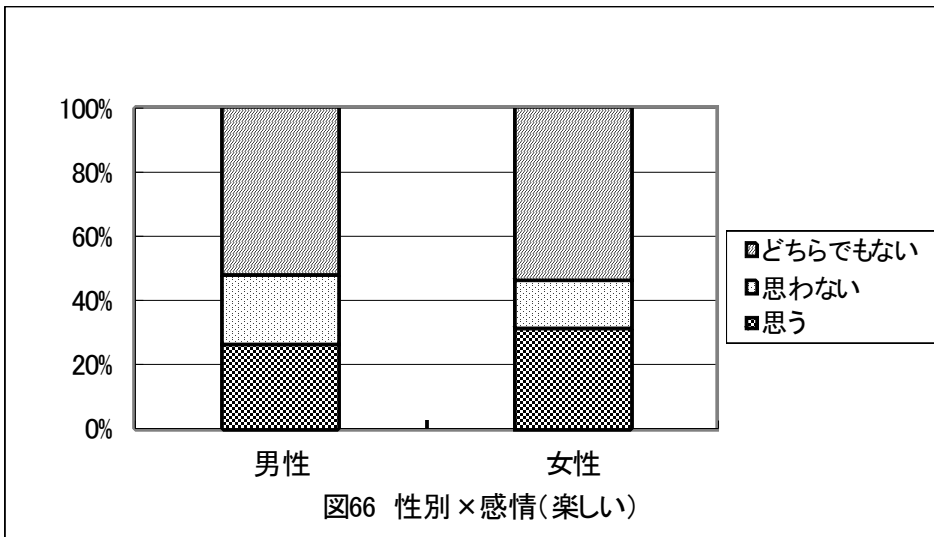
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
思う	30	▲89	64	73	▽86	▽57
思わない	22	▽30	28	38	66	42
どちらでもない	9	38	24	23	48	40



<結果と考察> 30代において怖いと「思う」と答えた人が多く (p<.05)、「思わない」と答えた人が少なかった (p<.01)。また60代と70代以降において怖いと「思う」と答えた人が少なかった (p<.05)。

<性別×感情(楽しい)>

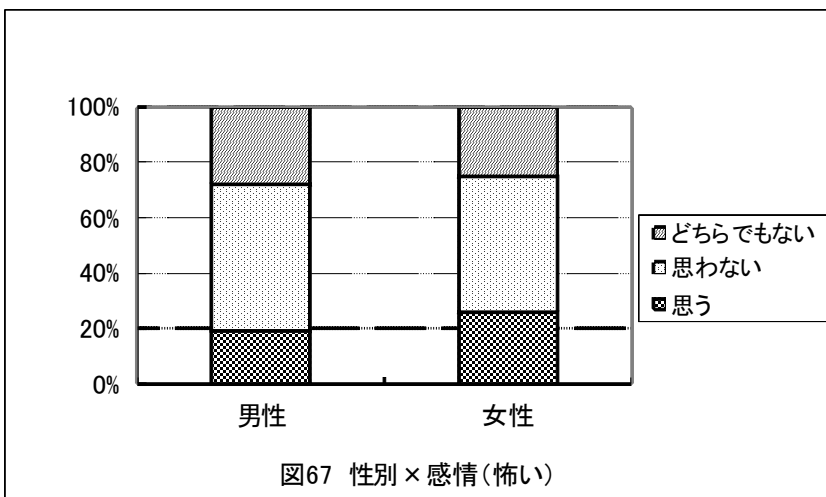
	男性	女性
思う	88	139
思わない	▲71	▽69
どちらでもない	175	242



<結果と考察> 男性において楽しく「思わない」と答えた人が多く ($p<.05$)、女性において少なかった ($p<.05$)。

<性別×感情(怖い)>

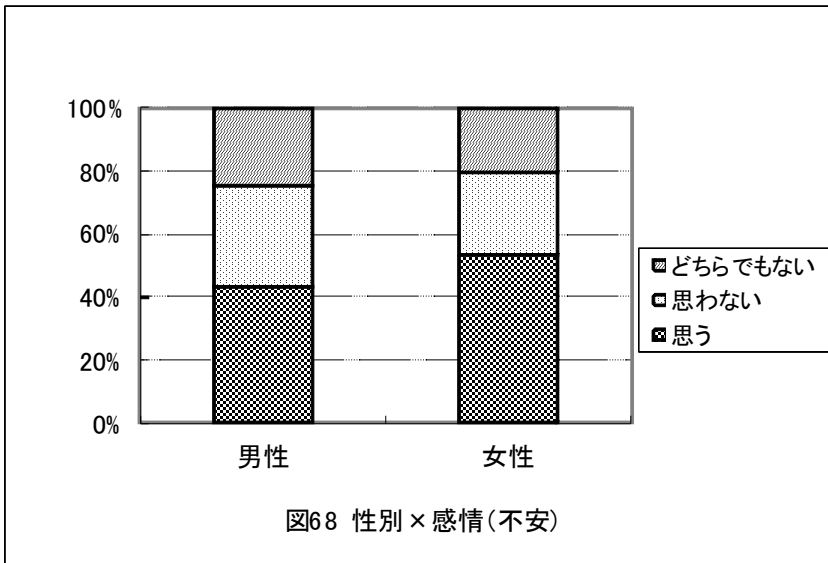
	男性	女性
思う	▽64	▲118
思わない	180	222
どちらでもない	93	112



<結果と考察> 男性において怖いと「思う」と答えた人が少なく ($p<.05$)、女性において「思う」と答えた人が多かった ($p<.05$)。

<性別×感情(不安)>

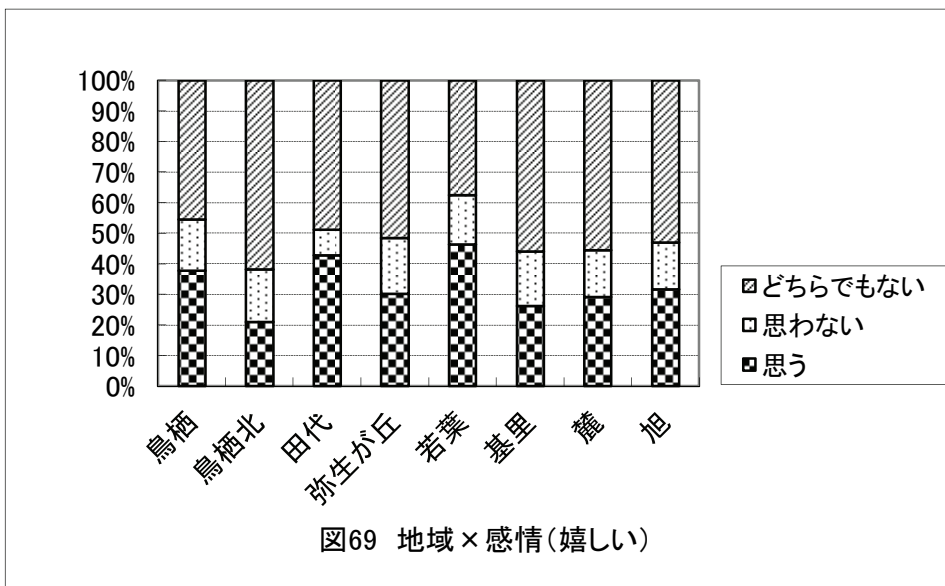
	男性	女性
思う	▽147	▲241
思わない	106	118
どちらでもない	84	95



<結果と考察> 男性において不安に「思う」と答えた人が少なく ($p<.01$)、女性において「思う」と答えた人が多かった ($p<.01$)。

<地域別×感情(嬉しい)>

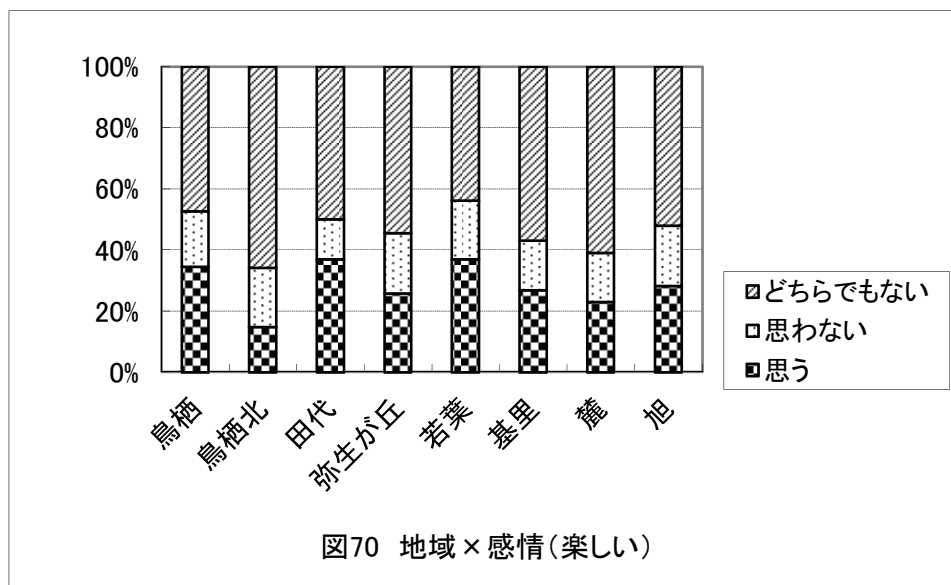
	鳥栖	鳥栖北	田代	弥生が丘	若葉	基里	麓	旭
思う	79	▽17	36	20	▲26	22	29	37
思わない	35	14	▽7	12	9	15	15	18
どちらでもない	95	▲50	41	34	▽21	47	55	62



<結果と考察> 鳥栖北地区において嬉しいと「思う」人が少なく ($p<.05$)、若葉地区において嬉しいと感じている人が多かった ($p<.05$)。

<地域別×感情(楽しい)>

	鳥栖	鳥栖北	田代	弥生が丘	若葉	基里	麓	旭
思う	72	▽12	▲31	17	21	23	23	33
思わない	38	16	11	13	11	14	16	23
どちらでもない	99	▲54	42	36	25	49	61	61



<結果と考察> 鳥栖北地区において楽しいと「思う」人が少なく (p<.01)、田代地区において「思う」人が多かった (p<.01)。

第4章. 自由記述

障害者と実際に接した事がないので、わからない。

どの程度の障害かわからずに、手助けをした方がいいのか、わからない時がある。 障害者の方を特別のように手助けすると逆に怒らるんじゃないかと考えてしまう時がある

「障害者」と言っても程度や年齢、いろいろ幅や種類があります。体が不自由だったり、言語だったり、マヒだったり…。一人一人に対応した補償を。また、その周りでお世話をしている方にも、負担にならない制度があったら良いなとねがっています。そして、もしものときにどのような制度があり、どのような条件で利用できるか、できないか、親身になって対応して頂ける様お願いしたいです。私事ではありますが、夫がに20代でガンになり、手術、入院になった時、子供の世話、夫の介護、私の仕事、そして将来の不安で本当に大変でした。「障害者」にあてはまるかはわかりませんが、病で仕事ができない人。そして一般企業(中小企業)での対応(くびきり等)がなきにしもあらず…。とっています。一人一人が幸せに暮らせる社会(地域)になってくれたらと思います。

初めてのアンケートでしたが、障害のある方の事を考えるいい機会になりました。

障害の方にとって、社会や世の中がどんな風に写っているのか、また感じているのか、私にはよくわかりません。きっと障害のある方でない限り、本当の所はわからないのだと思います。必要なことも不必要な事も。

障害者の方々は、多くの方が、生来もしくは事故・病気等でなられた方がほとんどであると思う。つまり、現在の健常者の方々もどのような環境・時期で障害者になるのかは分かりません。実のところ、我が父も昨年亡くなりましたが、約13年程前に少々の病気はかかえておりましたが、突然脳梗塞になり、半身不随及び言語不能となりました。その前日までには普通の生活が一変した瞬間でした。この経験からして、とても障害者の立場は当然他人事とは言えないことである為、繰り返しになりますが、常に障害者の方々の視点で物事を判断すること考えることは大事なことであり常々思います。

この間福祉課から回られた折、後で娘さんが回りの人が市に告げ口した様に思われ大変だった。回られる時は、たとえば70才以上の方がおられる所は回っているんですよの一言を言ってほしい。障害者と一目で判れば家族も回りの人もそれなりの手を差し伸べる人は多いと思うし、家族の方々もその手伝いを率直に受け止められる方が多い。しかし、物忘れの(認知症)の方は家族も本人もむづかしい。とくに、家族の方々の気持(受けとめたくない)の持ち様で回りが振り回される事が多い。家族の方の気持も私も母と暮らしているので判るか。そのあたりがむづかしく、手を差し伸べる事がむづかしいし、道に迷い家まで送った所、娘さんが顔をひきつらせ一応お礼は言われたが、お母さんをやかましく大声でおこられたので「わざと私にいらぬせわ」と言われている様でもう二度とと思った。でもよくうろうろして家が判らなくなっている。

良く理解できない面もありました。又、鳥栖市で障害者に対しての取り組み等がほとんどわかりません。目に見えないのが現状ではないのでしょうか。

障害者の為の駐車場の数も増えて良いと思います。市内の道路で溝にフタがされていない所があり、車椅子のタイヤが落ちたりしたら危ないと思います。

暮らしやすさについては障害者の方でないとわからないと思います。私が願う市は鳥栖市が人にや

さしい場所であってほしいということです。個人の意見としては、これ以上人口が増えるのはやめてほしいと思っています。マンションやアパートが多すぎます。自然を残した鳥栖市。そこに住む人たちが豊かな気持ちで、互いを思いやり、明るく過せる場所であれば、本当の暮らしやすい鳥栖市といえるのではないかと思います。

身近に障害者がいない分、心にやさしさがなくとも思います。

Q17～20 はひとによる。障害のあるなしと関係はない。

20年前、10年前から観ますと住みやすくなっていると思えます。道路だけみますと、何年も経たない内に点字ブロックがめくれたままとか、歩道のブロック、レンガが凸凹していたり、下水道工事の後のアスファルトが陥没したり、きちんと施工する業者に依頼して下さい。税金の無駄使いです。

スーパー等にある優先パーキングに、普通の車が止まっている時、悲しくなります。もっと厳しくしてほしい。

福祉施設(作業所)があるんですが、路上駐車がなくて交通の妨げになっていますので、回りの住人方とも仲よくできる様に、又、障害者の方も交通量の多い道路をあるて作業所(事務所などがある場所から)まで行ってあるのでとても危ないので、作業所など作る時は色々な面からよく考えて作られた方がいいと思います。

Q17～Q20 の問いについては、障害者だから！！と言うわけではなく人としてどうか？というもので、この質問は答えようがない。

家族・身内に障害者が居ないので、実感がわかりません。

最近増加しているといわれる仮面うつ病の人を障害者の中に入れるかどうかについてよく検討する必要がある。

ペースメーカー、股関節(金具を入れた場合)、透析等障害者になりますが、年金、税金、他等サービス、医療、障害者でない人よりも旅行したり、良い生活をしている人を多く見かけます。その人、その家族の収入に応じて、サービスをすべき。どこからどこまでが障害者なのか？

近親者等がいれば近所に施設があればいいかもしれません。

障害者とひとまとめに言われても、障害の種類もいろいろあるので一概には言えませんが、友人にも後天的な理由で肢体が不自由な方がいますが、友人の不便な時はお手伝いしますが、特別ことは何もしてません。(障害者と特別意識することはありません。)でも、突然、知的障害者の方に話しかけられたりすると驚くこともあります。(ちょっと怖いと思う時もあります。)どちらの視点で答えてよいか..... 難しいアンケートでした。

環境整備(道路等の整備)がもっとやらないといけないと思う。

調査企画は鳥栖市自体が行うべき(外部委託になじまない)

小学校や、中学校の子供達とも交流できる時間があっても良いと思います。実際に障害のある方を

前にした時、きっと子供達ははずかしい... などと手を差し出すことをしないと思うのです。もっと積極的になってほしいのです。3才の子供が車イスの方をじっとみていた事があるんですが、どんな気持ちだったのかと...

Q10 障害の程度によるものなので個々違うとおもいます。**Q21** 引越して間もないのでよくわかりません。

障害者に対する理解が不足していると思う。そのためには、障害者も地域に参加し、参加しやすい設備を整える必要がある。障害者ではなく身障者というのではないか？(私の理解)

子ども(年少)のクラスに自閉症の友だちがいます。認定をうけているから、病名があり、手当てが出て、先生も1人ついていますが、でもそのお母さんは、自閉症の我が子をしかりません。「できなくて仕方ない」からのようです。私は障害があるからと特別扱いすると、どうかnaoと試してみたいです。また、認定されると、うれしいとか言うのをきいて、何か矛盾を感じます。うちの子も、そうじゃないかと言われたことがあり、そのさかい目はどこかと悩んだことがあります。障害者という「くくりつけ」は必要かもしれませんが、子どもがそのしぼりのせいで伸びのび生活できなくならぬよう願います。

Q9 困っている人を見かけたことがない

子育て支援の充実が計られる事は、とてもありがたいしうれしいが、障害を持つ子供を育てている親にとっては困った事も増加している。受け皿が整備されていないのに保健センターが療育、療育と言うので、ただでさえ少ない施設がいっぱいになり、現行で通っている子供たちが療育を受ける回数を減らされたり、受けられなかったりしている。発達支援も大切だが、親子のかかわりの中で、言語面や行動面が改善される事が多い子供たちが多いので、すぐに療育をすすめる前に親子のかかわり方や、家で日常でできる事のアドバイス、指導をして欲しい。でないと、きちんと診断のある子たちの療育がままならい！継続的支援が受けられない！鳥栖は住みやすいと言う人も多いが、障害者、家族にとっては、とても住みにくい。表に出てこないような差別、いじめが多すぎる。とても陰湿です！同じ命の重さを持つのに、どうして生きている事をめいわくがられたり、うとまれたりするの...。悲しくなります。障害者に対しての見方も住んでいる地域ですごい温度差なのが不思議です。市などは、もっと障害があってもなくても命の重さは同じという事、少しの手助けで、みんなが幸せに暮らせることを市民に伝えて欲しい。

SQ12 職業差別、**Q21** わからない

障害者に福祉と言いますが、国が県が何かした訳ではありません。市が支援することは良い事だと思いますが健康で働けない人もいます。一生懸命働いても税金、年金を払って、残る給料でやりくりしている人も多くいます。何かと税率もどんどん上がって大変です。だれも止められません。障害者の方も健康な方も平等ではないでしょうか？当たり前の事を当たり前にしてください。

Q17,Q18 は設問について、出題方法内容に問題を要す。

特によくわからない

市は障害者に対す施設をもう少しふやしてほしい。スーパーなどで障害者専用駐車場に一般の人、

特に若い人や、としよりの人が、自分勝手に駐車しているのを見ると腹立つ。

道路が整備されていないので車椅子で移動できない。バリアフリーになっていない店が多いので困る。障害者用の駐車場がない。フレスポにはあるし、ガードマンもいるが止められないことが多い。パチンコにも行きたいが障害者トイレもなく、スロープもない。

私は親族に障害者がいるので分かる所がありますが重い障害のある子供の居る家族の毎日の生活がどんなに大変なのか、もっと世の中の人々に、知ってもらふ必要もあると思います。

Q19 障害の種類による、Q20 障害の程度によって不安 大型スーパーなど駐車場など障害者スペースに普通に違う車が止まっていたり、高齢者マークのばかりが停められていたり、本当に必要な方にとっては、空きがなく困ります。そういう所などでは、鳥栖市はまだまだ当たり前とした事でもモラルが低いような気がします。店舗でも、入り口や、通路が狭かったり(これはベビーカーでも)して通りづらい所もある。

直接障害者の方と向きあったことがないので答えにくいところがあります。

Q17～20 に関して、特に普通であるが故に特別何か思った事はない(障害者を特別視していない)。私は他より移転し、1年ですが、鳥栖市周辺地域では障害者スペースへの一般駐車があたり前の様に見られる。毎回スーパーでも何とかならないかと言うが何ともならないと、答えが返ってくるのが現状です。

障害者の方が出掛ける福祉施設、又は公園の整備している場所が少ない。街の商店街の歩道や道路の整備、点字ブロック、バリアフリー等に進んで整備してもらいたいと思います。

“障害者”の定義がよく分かりませんでした…

アパートに住んでいる単身者にとって、リサイクルゴミの集積所が近くになく、市役所まで持ち込まなければならないのは、単身者にとってはくらしにくい町。又、車をもたない者にとっても、くらしにくい町。相対的に鳥栖市は弱者にとって、くらしにくい町と思う。

パーキングパーミットの認知度が低い。せっかく佐賀県から始まった制度なのに恥ずかしい。コンビニやスーパー等、当り前の様に健常者が利用している。店員にも知識が無いのか、関わりをさせているのか、注意している人を見た事がない。私は個人的に注意したこともあるが、一度トラブルを招いてからは注意することが出来なくなった。もっと県や市が多くの人に知らせるべきだと思う。また、個人企業のパーキングに対しても、もう少しパーキングパーミットを行いやすい(簡単に)方法を考えてください。(ex.一切の費用の負担が無い)

なし

年金の事ですが、介護保険が引かれているのに後期高齢者7、8、9と7、900ずつ振込みが来て10月から年金からまた引かれてました。病院に行けなくなります。今からも引かれるとの事、困っております。

福祉施設の利用に障害者1人の金額が高すぎる。

Q17、18 について。質問自体が差別のように思います。「障害のある人」という1つの団体に対し

て使う質問ではないのではないのでしょうか。「障害のある人」も健常者の方と同じで、1人1人の個性から、一緒にいて嬉しい、楽しいと感じ評価するものです。個性を知らない誰かについて「嬉しい？楽しい？」という質問はするのでしょうか。疑問です。ただ、「差別しているか」という判断をしている質問としてなら、遠回しですが確かに良い質問かもしれません。

今からの時代は少子化にもなり、人口的にも少なくなっているのも、みんなが協力的にならなければならぬと思います。色々な病気や生まれつきに障害がある方、これからの時代は多くなると思います。時代が時代だけに福祉には健康な方が協力していただければ、とても良くなるのではないかと思います。

障害の程度にもよるとは思いますが、道路ひとつにしても車いすの方が通行するにはまだまだ危険箇所等たくさんあると思います。

Q17～Q20の質問は特に、大変不適切な質問だと思います。障害の程度も一人一人が皆違うのにどうしてこの様な質問が出来るのか不思議です。個性だって一人一人違います。健常者の中にも楽しい人もいれば全くつまらない人もたくさんいます。

障害の程度によって、答が異なるケースがある。この質問は、どのような障害を持っている人に対する回答か迷う。

私の小学校時代は、障害者の方と接することがほぼありませんでした。教室があったのは知っていましたが、そこには行ってはいけなかったような記憶があります。でもうちの子供の1人は、小学校の頃から、障害者の方と同じクラスにもなったりしていました。私がお子をかばったりすると、子供に、お母さんはおかしい、それは差別よといわれたことがあります。やさしくしてなぜいけないかというと、普通でいいよというのです。私のように障害者の方と小さい時から接していない者は、どこか、不自然だったのでしょうか。障害者と健常者といっしょに学ぶというのは、大変さは、はかりしれません、必要なことを学びました。それも同じ教室で。これも小学校の頃の子供から教わったことです。

鳥栖市に転入して、1ヶ月も経っておらず、十分な回答ができず、申し訳ありません。歯科衛生士、介護支援専門医をしていたので、障がいをもたれた方と接する機会はありませんでしたが、ご家族の方のサポート、ケアも大切だと痛感しています。

大阪や京都をお手本に！幼児からのUD教育は大切。人権を大切に育てる、「みんなちがって、みんないい」それぞれの違い個性を認めた思いやりのある共生社会へ！（気づく）→（知る）→（考える・作る）自分は、移動手段は、朝夕にもっぱら徒歩であるが、歩道や街灯が無い道路、歩道があっても狭い、傾いている、溝フタ穴が大きい、破損、ガードレールが無い。など障害者やお年寄りには、危険だと感じる道路が多すぎる。多くの方が利用できる安心、安全な道路作りをお願いしたい。その為に自分たちの納税金が使われることは、賛成である。一部の者しか利用しない河内橋、サッカー場、新幹線駅の次は、是非、市内全駅をみんなにやさしい道路にしていきたい。乱筆乱文にて失礼！

駐車場において、障害者マークのスペースに普通の方が平気で駐車している場合が多く見かけるので、モラルについて、教育現場(公的機関)等で教育及び広報を徹底しなければならないと思います。

このアンケートで、障害者にとってよくなるのか、なんのためのアンケートかわからない。これが

送られた事で不愉快です。

障害者の必要とする情報が少なすぎます。こちらから(障害者)から窓口でたずねても細かな説明がありません。不安なことばかりです。

例えば鳥栖市役所前の交差点。視覚障害者のために音が鳴っているけれど、音が切れてから信号が変わるまでが短い。あれではもし渡る途中の人がいたら道の真ん中で赤信号になってしまう。目の不自由な人が渡りきる時間を考慮しなければいけない。ハードだけそろえても意味がない！という事。

安心安全な鳥栖であってほしい！！

Q17～Q20 の質問は、かかわるまでの気持ちと実際に障害の方を見の前にした時の環境とかで変わると思うし、その様に考えた事がない。最近、スーパーとかの障害者専用駐車場を若い元気な子が平気に車を停める姿はなさけなくなりますネ。

小さい時に母の車に乗っていたところ、車の後ろに精神的(生まれつき脳に障害のある方)障害のある方にベタッと張り付かれ、怖くて泣いた事を覚えています。母も怖かったと話してました。一言で障害者といっても、いろいろな症状があります。普通に会話ができる方に対しては、思いませんが、体は自由に動かせるのに、重度の精神的(脳に障害)障害のある方々は、どういう行動をされるか理解できない為、怖いという感情がでてきます。そういう所で働いてある方が「この方たちは生きてるだけでいいんだ」とおっしゃってました。「生きてることに意義があるんだ」と。とても重たい言葉でした。

まだまだ障害者に対して、理解がない人や市役所職員が多いと思います。

ボランティア参加を呼び掛け。人の集まる場所(駅、交通量の多い交差点等に高齢者・障害者その人に言葉をかけ、手助け等して高齢者・障害者の事故なくして明るい町にしてもらいたい。)

「東田直樹」氏のブログをぜひみて下さい。すごく気持ちがつながります。

障害者については家族はもとより地域社会温かく見守り安定した生活が出来るように努めてもらいたい。

私の兄は、小児マヒで足が不自由ですが東京で就職し、生活しているが東京は鳥栖に比べて障害者に対してとても親切(バリアフリー等)に感じます。鳥栖は公共施設はいろいろあるが、他の所はまだ遅れているし、町内でのフォローとか全くないように思う。

空いた時間とか、ちょっとあっても何か、ボランティアができるよう登録制度を設け、インターネットの接続環境がない人も多いので、フリーダイヤル等で「～なら空いていますケド、何かないですか？」とかの問い合わせができるようするといいと思います。チョボラネットワークがあればいいと思います。私は教員を体を壊して辞めて、今、フリーなので、何か、お役にたてることがあれば、声をかけて下さい。

障害者について考える機会もなかったし、鳥栖市がどの程度対応しているか分からなかった。今後は月報・たより等で障害者等の欄を見るようにしたいと思います。

ヘルパーさんの教育をしっかりしてもらいたい。入ってもらっている人の話を聞くと、物がなくなったり、食事の用意が時間内で出来ず、途中で帰ってあったと言う話も耳にしました。

Q18 時折、つかれるし Q19 時々怖い 私は年金暮らしをしている者です。主人は去年の5月認知症と診断をもらいデイケアサービスを受けるようになり助かっておりますが、時々ハイカイ。夜中に寒いのに薄着をしてコッソリ出かけ3時間～4時間帰って来ません。さがしに行っても見つからずあきらめて家で待っていますが心配が耐えられません。今の所帰ってくるからいいのですが(出かけるのが毎日ではありませんが)… 色々な事がいっぱいありますが、それでも年金生活では生活できません。あっちこちの支払いをしていたらやはり1万でも2万でも働かなくてはと思い、働いています。でもくやしい事に近所の方は、今は、裕福に暮らしておられますが、良くいわれる事が、年金生活になれば、生活保護を受けるといつもくちぐせでいわれます。そのたびに腹が立ちます。今まで一生懸命働いてきたのにどうして年金生活してる方が苦しい思いをしなくてはいけないのですか。何につけ生活保護を受けている人は援助援助と腹が立ちます。

障害者の方が困っておられたら、私で出来る事ならいつでも助けてあげたいと思います。ただその時、障害者の方が素直にうけて下されば助けてよかったと思うのではないかと思います。

先日、骨折し、足の手術を受けました。お蔭様で障害が残ることなく歩けていますが、歩行が不自由になってまっ先に感じたことは、歩道が歩きにくいのです。自宅は街中で、歩道は整備されてると思うのですが車イスで通るのなら狭い。自転車もまだ歩道を堂々と通りますし、(特に曲がり角、塾の出入口など危ないです。)雨水は、はける為か、斜めになっています。歩道と車道の交差しているところの段差も気になります。視覚障害者になった経験がないのでよく分かりませんが、点字ブロックも“ある”というだけで、実際作りにくい箇所が多々あるのではないのでしょうか？行政に対して、環境を整備していただくのは勿論ですが、困った人がいらしたら健常者の方からの声かけをもっともつとすべきだと思います。(そんな教育を徹底させるべきです。)ただお手伝いをする時に“どうして良いかわからない”という気持ちもよくわかりますので、声をかけられた方は、“〇〇はできるけど〇〇ができません。〇〇してしてくださいませんか”とはっきり示して下さると手伝う方の不安はなくなると思うのですが。まずは私達大人が、子ども達に手本を示すべく、“お互い様”の気持ちをもち(手伝うとかではなく)、声をかけることから始めないといけないと思います。

Q20 嫌いとかではなく・・・上手く・・・嫌いな思いをさせることなくかわられるか・・・ 集計、御苦労さまです。こんな私の一言が生きれば幸いです。

障害のある方の能力に応じて、お仕事を増やしてほしいです。今年も若木園の文化祭で色々と感じて帰宅しました！！みんながんばってある(スタッフ含め)姿に感動してきました。

Q17、18 わからない

Q15 見かけた事がないので

Q17、18の意味が分からない。同じ人として接するので、何とも思わない。鳥栖は細い道が多いし、渋滞も多いので、道路は危険だと思う。

障害をもつ子どもの親の支援が望まれる(一時支援の充実等)。障害をもつ方、その親の人生をトータルで考える事が重要だと思います。学校教育の中で現在行政が行っている、制度等を伝えるカリキュラムを入れていくのも一つの方法だと思います。そして誰もが関係あることを認識することが大切だと思います。

Q21 わからない 「パーキング・パーミット」に停めてもOKの車に表示するステッカーは、誰でも簡単に手に入る物でしょうか？スーパーなどで、「本当に、そうですか??」って言いたくなるような人も車に貼って停めているような…。あれは人としておかしい。許せないと思います。

Q11 障害の度合い

買い物のがつらい時があります。 私が一番お願いしたいのは、今、高齢者の独り暮らしが多いので、どこの世帯も赤い札と青い札を置いて家にいる時は赤、いないときは青と出してお互いに元気が確認して不安なく過ごせるようにしてほしい。孤独死の予防を考えてほしい。

Q20 介助するときケガなどさせないか

Q10 身体的障害であれば Q11 他の行事と重複し私自身不参加が多いので見えていない。文化祭の参加では見えていないが、観覧者のなかには数人見かけます（団体も見かけます） 公共施設の末端施設等(民間含む)のエレベーター或いは、リフトの設置を推進・助成してほしい。2 F会場へ行けない、と不参加する人も見かける。

身近に障害者の方がいない為、よくわかりません。

特にありません。

たとえ障害をもっている、地域で働いたり、安心して社会に出ていけたりする福祉行政であってほしい。だれも好きで障害をもつ人はいない。障害をもった場合でも安心して教育を受けたり、社会に出ていけたりする世の中でないと、たとえ障害をもっている、その人がもっている能力を生かせる場がなくなると思う。弱い立場の声を上げない人の声をどれだけくみ上げて、福祉行政に生かせるかがその国の福祉の充実につながっていくと思う。

わからない

障害者の方と接することがあまりなく、知識や理解が少ない為、どう関わっていけば良いかわからない所があります。自分もいつ当事者になるかわからないので障害者の方が暮らしやすい社会にできるよう協力したいです。

Q5 友人が障害があるので、いっしょにいるときは、かいぞえ等はしている Q9 困っている障害者を

歩道の段差が多すぎる。

Q17、Q18 質問がおかしい、意味が分かりません、Q20 何を？

鳥栖市にリハビリを目的とした、プール付(室内温水プール)、トレーニング施設(健常者・障害者、両者が使える)の建設をお願いしたい。

Q16 重度の精神障害者の方が入所されている施設だと子供を持つ親として事故・事件の可能性を考えると賛同しがたい この調査で問われている障害者の度合いがわからないので答えにくい点があった。(体の障害、精神的障害など、自分でも対応は違うと思う) 知り合いから聞いた話だが、鳥栖は学校・病院・支援施設などの整備がされていないとの事。

Q17～20 意味が分かりません

以前よりは、障害のある人・その家族とも積極的に表面に出て、周囲も少しずつは気づかいながらも交流を深められているようである。小さい子供に障害をかかえておられる親子さんも鳥栖市全体で支援の輪が広がり引きこもらずに表に出て、すすんで活動してある姿は、ほほえましいものです。今後ずっと福祉の輪が広がり、差別・偏見が無くなるように続いてほしい。

障害のある方の為の設備は、障害のない方が設置すると、一見、良い物を設置したようでも使いにくかったりしますので、障害のある方の目線で検討すると良いと思います。

うちには子供が3人いて、まだ小さいので私は常に子連れでの外出です。私1人の時に障害のある方とかかわるのは不安・怖い等感じませんが、子供が一緒だと、積極的にかかわることはないと思います。(こういう事が差別なんですか…) ただそれも人や時や場所にも左右されるので…一言で差別と言っても、健常者の私達が障害という事に対する知識・認識があまりにもなさすぎると思う。私も差別はいけない事だとは思いますが、差別をなくす為には差別に対する教育が必要だと思います。

普段、障害者について考える機会がないので、このようにアンケートを回答することで考える機会を与えてもらって良かったと思う。今後も鳥栖市民が住み良い地域になることを願っています。

韓国に2ヵ月半滞在していました。その間、街や地下鉄の電車の中で障害者が物乞いをしている姿を良く見かけました。そういった点で比べると日本はめぐまれているなと思いました。

障害を持った子供がこれからどうなるのか不安です。どんな施設があるのか(学校にゆけないなら)、保育園に行けないならどうなる、ずっと家でみてずっと子供につきっきりで…動けないような重度の病気を持った子供をそのお母さんが一日家で世話をしている姿がテレビ放送されると大変そうだなあと見ていましたけれど、うちもあんなふうに家で世話をしてゆかないといけないのかと思います。なにも教えてもらえないのはどうしてなのでしょう。福祉課へこれまでなん回となく行きましたが、それとなく、こんなパターンがあります、こんなパターンもなんてのはないので、友人に聞いて(障害のある子を持っている友人ですけど)友人に聞いたことだけをとりあえず申請しています。そうゆうことがよけいに不安となっています。

Q10③反対④無理⑤さすがにまずい⑥考える気がない SQ12 設備投資しなければならない 障害者というのは、社会の負担になっている。現実を直視しよう。社会のお荷物だからどこかに追いやりというのではない。公務員か何かにして奉仕活動に従事させるというのはどうだろう。それより戸塚ヨットスクールのようなフリースクールを造って下さい。入居してくる少年たちは、ある意味障害者だ。佐賀競馬を廃止して、跡地は場外馬券場と、刑務所にしてほしい。民間の刑務所にすれば、雇用も増える。

障害を持つ方と接する機会がほとんどなかったので暮らしやすいかどうかはわかりません。この先、自分や家族が障害を持つ様な事があった時に相談にのってくれる所がたくさんあると助かると思います。

近くに商店がないので不便である

ボランティアに参加したいと思っても機関が分からない。

社会保障、又、弱者に対して考えるべきである。

鳥栖市が「障害者の方が住みたくなるまち」になるように、毎年少しずつ新しい取り組みをしていただきたいと思います。

なし

SQ4 年に2～3度

私も平常ではなく(目が悪いです)健康ではありませんが自分にできる事は少しでもお手伝いしたいと思っております。

あまり、障害のある方と接する機会がないので、鳥栖市の障害者への現状がどんなものであるのか、知りません。「障害」というのも、本人に非があるもの、そうでないものと様々だと思います。本人に非がないものについては、周囲・社会が、健常者との差をできるだけ補ってあげるのもよいのでは、と思います。

障害がある人に対してどう接していいのかよく分からないというのが、ほんねです。スーパーで働いていますが、4～5名で騒ぎながらこられると、少し、いしつに感じます。でも、体の不自由な方などは、出来るだけ助けになれたらと感じ、出来るだけ努力したいと思います。理解していきたいですね。後、鳥栖の人は、みなさん親切で、優しいと思います。

Q13,14は、国・県・市等からの補助等によって配慮が変ってくると思われる為、回答にまよう！

私自身、障害者1級です。ペースメーカー使用5年前より。

Q4(5)仕事で障害のある子供と接する。Q10 学校の学ぶということを、国、算、数、理のようなものという考えなら能力別。学校を社会生活の基本的姿勢、基本的学力と考えるなら、同じグループ。「学校」を根本的に考え方を必要を感じます。今のままだと同じクラスでも楽しくないのでは？Q11 子供の性格や能力で自由に選択できるといいのですが・・・目的より段階別に考えていくべきだと思います(受け入れる用意はすべてのところで) Q12 ないとは言えない。でもだいぶ変わってきたと思う。質問がなんだか決めつけが多く、本当の問題をとらえていないような気がします。 1. 障害者も内容はいろいろで、どの障害問題について、答えてよいかわかりにくい点。2. <学校の件も>・<就職の件も>→このようなアンケートでは答えにくいと思います。3. 親としても、友人としても、障害者が人間らしく、たのしいと思える人生をおくってほしいと思っています。

障害のある方にあまりふれ合う機会がないから差別したり、おどろいたりするのだと思う。子供の頃から学校や街や地域行事で会っていると、怖いと感じたり変な目で見たり逆に目をそらしたりすることはないと思う。同じ時代に同じ地球で生まれたのだから、みんなが笑顔で暮らせるようになってほしい。

Q4 自分自身、H23年10/20に障害給付年金請求書を申請。

福祉のことは企業団体で積極的に行ってほしいです。それに個人が協力するパターンがやりやすいです。障害者のことが理解しやすいように常に接する、目にすることがよいと思いますのでQ10は②にしました。特別支援学校は、他人事に思えるし、特別視して偏った考えを持つことになりかねませ

ん。

平成 22 年 10 月、妻が介護 1 に認定され現在 1/W リハビリ通院中です。障害者への理解が身についたこのごろです。

Q17～Q20 の質問が良くないと感じる。“障害のある人”が漠然としており、何の障害・程度で人による感じ方が違うと思う。私の同僚は足が不自由ではあるが、とても人が良く会話は楽しくさせて頂いていますが、全く別の障害のある人で少し怖い思いをした経験もあります。

私自身“障害”があろうとなかろうと、この街に住む皆さんと私自身が、もっともっと幸せで住みやすい所になれるように自分にできること、やりたいことがあれば積極的に取り組んでいきたいと思っています。

私が障害のある人とかかわる際、楽しいとは思えないが、私自身が出来ることをさせてもらう事はとても嬉しいと思う。

Q17～Q20 の質問については、体験がないので何とも云えない。

平等を主張する余り、障害者本人が負担を感じずような状況を強引に求める必要はないと思う。「分に応じて」「能力に応じて」暮らすのが、幸せではないだろうか。背伸びはストレスの原因にならないだろうか。

鳥栖市には引っ越してきたばかりで、鳥栖市の取り組みや状況については、あまり把握していません。今まで障害のある方に対し何も思ったこと、考えたことなどありませんでした。身近な存在でないのが大きな理由ではありますが、これから先障害のある方とかかわることがある際は、私自身に何ができるのかよく考えたいと思います。

Q4 主人が障害施設の当直を 3 日に 1 度の割合でしております 車椅子などで気軽に出掛けやすい様に、「道路の整備」をきちんと行って下さいませ。

Q17～Q20 については、相手が一般の人でも感じる程度で、障害のある方として偏見を持たずに接しています。俗に言う健常者と障害者というくくりが世の中の偏見や差別を生んでおり、健常者の方が会話の通じない人が多いのに障害者というくくりで偏見を持ち、逆に内にこもるのは、ノーマライゼーションの精神にほど遠いと感じています。健常者にも何かしら障害があり、生活に支障をきたす障害はその延長線上で変わらないのだという考え方、大きなくくりをなくすことができ、足りないものを補うことができればと思います。バリアフリーやユニバーサルデザインもいいけれど、まずは目の前の人を助け、支え合うことが当たり前になる社会をつくらなければならないのだと考えています。

Q17～Q20 は障害の種類によると思います。ずい分昔、訳もわからず大きな声を出しながら追いかけて来られて、こわい思いをした事がある。

Q17 普通の人として接している 音声ガイドやデザイン標識を普及設置した方が良い。

義母が痴呆でグループホームにお世話になっています。実家の近くにあるグループホームなので(遠隔地)月に 2 回ほどしか行かれませので行っても顔を覚えていません。兄弟でかわりばんこに行っていますが、30 分くらいで、「誰もこん」と言っているようで、悲しくなります。グループホームの介護

者の人達は、良くしてもらっているので本当に感謝しております。

Q17～Q20 の質問に関しては何を問うているのかわかりません。逆に障害者の人に対して差別ある質問に感じます。

福祉施設が少ない

障害のある人ともしかかわったら、自分が逆の立場だったらと思うと、怖いとか不安な気持ちにならないで接していきます。

交通の便等が悪く、思いはあっても、グループホーム等に入居させる決断がつかない。

ナシ

良い方に行くよう頑張りましょう。

普段、障害のある方と接する機会もなく、特に深く考えたこともなかったので、良く分かりません。鳥栖市の歩道等は、視覚に障害のある方が歩き易いようにはできていないように思います。

障害には関係ないと思いますが、近所には、車に乗り仕事もせず生活保護をもらい生活している人がいます。そういう事態を改正し、見直して頂きたい。まともに働き納税している私達は納得できません。

Q17 人なので嬉しいとかない。イヤでもない Q21 は本人達に聞かないとわからない。

障害と言っても色々…。手をさしのべて良いものかと不安に思う人は多いと思う。幼児のころから、少しできる環境があればと思う。(私が小さいころは、見てはダメというのがあった…) 家族もオープンにできるといい。

私は全盲の方との関わりがありましたが、鳥栖駅内はまだ不便だったり、歩道には自転車を止めてあったりと…他に問題はあられるかと思います。Q17～Q20 は、「どちらも言えない」に○印をつけましたが、障害の程度や持って生まれた性格等など…健常者でも関わる際、色々な思いがあるので…この質問の返答には難しいですね。在宅で地域で暮らせる環境ができると良いと思っています。

身近に障害者の方がいないので実感はわかりませんが！もし、我身にあったら、きっと希望をなくし、受け入れることが出来るまで精神的に立ち上がることが出来ないと思います。そのことを思うと、もっと地域で、お世話したり、その家族の人に安心して暮らせるようグループホームみたいな施設を増やしていったらいいと思う！！

現在、車イスで歩道は通れない。自転車及びせまい。デコボコ段差が多い。

人は皆平等なのに、なぜこんな質問をするのかわからない。嬉しいとか、楽しいとか、怖いとか、そんな質問をするのはおかしい。

老人福祉と比べて鳥栖市は障害者への福祉が遅れている。

SQ4 親戚

障害の手帳などの手続きをぎりぎりの日に行って手続きをしてくるまで時間というか2ヶ月すぎて

もなかなかこなくて、電話をかけても、長くかかりますといわれるだけで、障害の人にとっては、不安になる人もいると思うので、そのへんを考えてほしいと思います。

SQ12 ①知的と思われると特に。本当はそうでなくても 家族(世帯主)が障害者であったりすると隣保班の班長、子供会の役員などは、地域の理解がないと困難です。75才の老夫婦などは免除とかあるのですが、市の方から働きかけはして頂けないのでしょうか。それがなければ、隣保班を脱退しようかと思案しています。地域でのさらなる孤立も否めません。また自ら“できない”と言うと問題が起きそうなので、なかなか声はあげられません。現在の市長が、現職になられて1年程経った頃、あるホームセンターで、買い物をされていました。その時、障害者が、タバコに子供から火を付けてもらっていた姿を見た市長は、私達から見ても馬鹿にしている目線で、その様子を薄ら笑いして見ていらっしやっただことが忘れられません。確かに、障害者たる者が、タバコなど…と思われると思いますが、それにしても公人としていかなものかと。障害者は、酒・タバコ(確かに体に良くないことですが)をすることも偏見の目で見られるのでしょうか。市内県立高校生が、車の助手席に障害者が乗っている事に気付き、(高校生は歩道を歩いていました)隣の友達に“ホラホラあそこにいるよ”と合図をし、「おかしな奴がいる」と、二人で馬鹿にして帰って行きました。自分達は、その子達に直接抗議し、学校の方にも意見しました。学校(就職系の学校)は特に、障害者等への道徳教育を行ってほしいと強く望みます。小学四年生でも、国語の授業であるのですから。(市でも県でも学校において学活・道徳の時間に人権問題としてやってほしい)

障害者に対してもう少し援助してほしい!!(仕事面、医療費)

・街灯が足元を照らしていないので、障害のある人だけでなく健常者も暗くて不安になることがあります。例えば 22:30 までと時間を決めて、もっと歩道の街灯を明るくするべきだと思います。・歩道と車道の段差をなくす工事をするべきだと思う。・駅のホームまで階段が多すぎる上に、点字ブロックが隅々まで行き届いていないので、とても不親切だと思います。

Q17,Q18 見れないこともあるから

私は障害者とのかわりがかかわりが今迄まったくなく(69年間)、何もわからない為アンケートにも答えづらい。だけど障害者の方が暮らしやすい町づくりをしてほしいと思います。

Q10 親、本人、内行者で

なし

身近な物として車いすの方の為の駐車スペースに、どう見ても健常者と思われる車が止めてあったりするのを見ると、他人事としかとられられていない気がします。行政が率先して障害福祉の問題に取り組む事はとてもよいと思います。

新鳥栖駅の新幹線側の障害者トイレ内に設備の説明する装置がありましたがご存じですか?在来線側には有りません。不思議です。この様なすばらしい装置を是非とも鳥栖市も検討されたらどうでしょうか。ちなみに九州国立博物館にも同じ物がありました。

Q4 自分が福祉施設に勤務していた

最近、福祉施設が多すぎると思う。

何年か前に、見る限りでは脳に障害がある子が、公園に来ました。我が子とそのお友達が一緒に遊んでいたの、その子が来て一緒に遊び始めました。見た目からすると小学校高学年～中学生位の男の子で一人で自転車に来ていたので、ちょっと気になり見ていましたが、目を離れたすきにみんないなくなっていたため、あわてて探すと、その子がみんなを連れて行こうとしたみたいで、とてもびっくりした事があります。大きい子なので、親も外に出していると思いますが、何か起こってしまったからでは、誰も保障できないと思うし、他の障害のある方も同じように見てしまうので、親やその周りの方は、配慮(善・悪を教えたりなどです)してほしいと思います。

Q17、Q18、Q19、Q20 の設問に対しては答え様がありません。障害者の家族にとって大変差別的で失礼な質問ではないでしょうか。障害者のいる家族は、どれだけ大変な思いをされているでしょうか。それを考えられた事がありますか。

Q17～Q21 は障害の程度にもよると思い、回答しにくいと思いました。

障害者の方達の為のボランティア活動などありましたら参加したいと思います。

Q9 覚えてない Q17、Q18 の障害のある人とかかわる際、嬉しい、楽しいの質問の意図がよくわかりませんでした。Q19、Q20 も「障害のある人」の障害(特徴)によって怖い、不安があると思います。「障害がある」と書かれても、1人1人違いますし、個性として考えますので、特別に注意して観ておく、ということが負担になるか、ということでしょうか？(怖い・不安と思うのは)障害をお持ちの方で困っていらっしゃるのなら、手助けできることを個人のできる範囲でしたいとは思いますが、もちろん、行政や民間の会社で何か力を入れて取り組んで頂くことができれば、よりよい暮らしを提供できるのでは、と思います。うまく、文章に出来ず、ご不明な点あるかと思いますが、少しでも参考にさせていただけたなら幸いです。

Q5 仕事として メイン道路は段差が少なくなり、点字ブロックもあり、障害者が暮らしやすい街づくりが進んでいるように見受けられますが、実際車での移動が多い為か、電動車イスの方や、時々白杖の方をお見かけするくらいで、街中で障害のある方を見かけることはあまりないように思います。介護福祉士として、長年、様々な病気や障害のあるお年寄りの介護の仕事をしていますが、鳥栖市には高齢者の施設がたくさんあり、在宅の方も送迎付きの通所施設を利用されている元気なお年寄りが多く、お年寄りやその家族にとっては割と暮らしやすい街になっているのではないのでしょうか。一方、私の家族や親戚に精神障害者がいますが、就労等、社会復帰や社会参加が難しい現状があります。高齢者や身体障害者と比べて、精神障害者の場合、医療と福祉の連携があまりないように感じられます。本人はもちろん、家族を含めてサポートするシステムと障害者を差別しない心のバリアフリーを目指した街づくりを強く望みます。

自分もいつ障害者になるかわかりません。ごく自然に頼める環境、差別のない生活が送れる豊かさを国全体が努力する。そして障害者も自分出来る範囲では決して周囲に甘えることなく律する努力。このことも必要ではないでしょうか。

意見でなく、感想として。 Q10 から考えれば、非常に難しい問いだなと思いました。「解」が見つからないと思いました。久しぶりに「障害者」や「福祉」というテーマについて考えました。僕は今、働いているので、少しだけ思うことがあります。「福祉」で、利益を求めてもよいのでは？と。全く僕は、「福祉」についてわかりませんが、「弱者」(実際に、社会的弱者とは思いますが)という、カテゴリー

イズからはみでた人がでてきても良いのかなあと。長文失礼致しました。

駅周辺の歩道をちゃんとしてほしい。

Q21 分からない

Q19 骨折等に対して

・「障害者」と言っても幅広くあり、当アンケートに適切に回答できない面がある。 ・もっと具体的に項目を作りアンケート調査をした方がよいと思うが、「人権」だけを主張するものがある限り、当アンケート程度が限度でしょうか。 ・「障害者」の立場からすれば、「至れり尽くせり」の福祉を要求したいのかも知れないが、街中でときどき見かける「障害者」の「他より優先されるのは当然との態度」には、腹が立つこともある。

SQ4 親戚なので

福祉施設の状況や、障害者に対する実体験がないので判断し難い部分が多くありますので参考になるか疑問です。

Q4 息子の嫁

Q17、Q18 の嬉しいとか楽しいとかいう質問は、意味がわかりません。

(Q20 について)障害のある方も、障害の種類や程度、性格によって接し方が違ってくるので、初めてお会いした方など、どんな人かよく分からないうちは、やっぱり不安になると思います。

歩道に街路樹が植えてありますが、枝がじゃまになる事があります。また、ナンキンハゼは、私自身がハゼ負けをするので、困っています。

日本全体が、障害者が暮らすのには厳しい現状だと思う。そのような、福祉には、どうしても資金があるので、経済が悪い中で障害者が満足できる社会の実現は、むずかしいと思う。障害者でなくても生活が厳しかったり、将来に不安のある今は、人の気持ちにもゆとりがなくなり、障害者のための設備だけでなく、対応や接し方にも現状より、厳しくなるのではないかと不安です。

Q10 本人の意思を尊重して結論 Q11 本人の意思と顧問先の体制込み Q12 差別の意味が能力的なもの。自給や本人の事情による就業時間等々健全者と異なる事情によること全般を指すのであれば、ある。しかし、自由経済社会ではいたしかたないのでは・・・ Q13 実際に多くの所で負担を行っています。質問の意味が不明。 Q14 Q13 と同じ Q15 弥生が丘では青葉園さんが感謝祭を開いていて多くの住民が参加しています。鳥栖の他の地域にも、そのようなふれあいがあるのではないのでしょうか。学校においても私の子供（2人）在学中は。アンケートを作ったNPOさんがキグするような状況ではないですよ Q17 から Q20 の質問は乱暴。障害は身体的なものから精神的なものもあります。犯罪をおこして精神的な障害がありましたという報道にはへきえきです。アンケートの趣旨がいまひとつわかりません。青葉園等の施設に入所している方に対してか、一般的に車イスの方・松葉杖の方なのか。「嬉しい」とか「怖い」って尋ねる神経がわかりません。

近年、特に、弱者に思いやりのない政治で悲観的な状況です。“心のゆとりのある暮らし”だけでも…。偏った政治のない鳥栖市を望みます。

特にありません。

Q5 担任（高校）経験あり Q11④で助かるひともおれば①の人もおられるのでは 「実」のないアンケート調査は税金のムダ使い！！「嬉しい」「楽しい」「怖い」「不安」等、不適切な表現が多すぎる。上から目線はつつしまれた方がよろしいかと。不謹慎なアンケート調査はやめるべき！！鳥栖市社会福祉課障害者福祉係の無神経な“問い”が逆に「怖い！！」「不安！！」である。

SQ15 自分たちのことで精一杯だと思います。Q16 商業主義の所が多く 誠心誠意のホームではないのでは 病院・建設業さん経営のホームばかりで、このたぐいは商業主義・客寄せ的で…。国立・県立・市立の安価な施設が出来る事を願います。

身内に障害者があり、日々の世話があり、働きに出る事・子供達を連れて外出する事も出来ませんでした。何度も体調を崩して、救急車をお願いする事もありましたし、子供達の前でどなったり、部屋中を排泄物だらけにしたりする事もあり、また子供達に暴力をふるったりするような事もあったので、施設にお願いするようにしました。精神的・肉体的には楽になりましたが、金銭的にはかなりきびしい状況です。障害者だけでなく、障害者の世話をする身内とその家族の事も助けてやってほしいと思います。

選択が少ない。

Q15 高齢者の1人暮らしが高い地域です。障害者におきかえて考えてみました

障害者の人達が働ける授産施設がたくさんあるといいと思う。

Q13 特に費用面 Q14 特に費用面 今回の様な調査の立場から良く観察していなかったので、判断に迷った。

障害のある子どもの学ぶ環境は、地域の学校に設置された特別支援学級に通うのが望ましいと思うが、設備から考えれば特別支援学校がいいのではないかと思う。でも環境面を考える障害者にやさしい町づくりは、他の人にとっても住みやすい場所になると思う。鳥栖は、新幹線がなぜ麓地区に駅ができたのか疑問だ。できれば久留米の様に JR 鳥栖駅と同じ場所に作った方がよかったと思う。そして、駅の東側の整備をして頂きたいと思う。

Q21 わからない

障害者を見かけた場合、積極的に手を差し出すことは可能と考えているが、身近に様々なタイプの障害者がいないことから、どのレベルの障害なのかが不明であり、声をかけることで相手が嫌な思いをするのではと考えて、中々こちらから声をかけづらい。しかしながら、今後の高齢化社会のことなどを考えると、当然企業や病院など積極的にできる範囲で可能な限りバリアフリー等を推進していく必要がある。

・市内の道路幅が他の市町村よりも狭い上に歩道も凸凹が激しく、身体障害者だけでなく健全な人も利用しがたい。又、電柱が乱立しておる為、通行に支障をきたす。 ・住みやすい町に期待するのは、早く道路整備見直しをお願いします。

会社で、耳の不自由な方と仲良くなってから障害に対する差別意識がなくなりました。関わると考

え方が変わると思います。

Q21 わからない

障害者の認定(取り扱い)されている人が鳥栖市(7地区)で福祉施設・家庭でされていると思います。それぞれ地域で活躍されている状況等の公開を市報等でお知らせ頂ければ更に支援の輪が広がるのではと思います。

Q17 普通 障害者として余り意識した事がなく通常に接することができると思っている。

鳥栖ではスーパーなどあらゆる所に、バリアフリーが設けてある。特にトイレや入り口(階段ゆき)など。とても良い傾向だと思う。ただ実際に利用してる障害者のかたを見たことがなく、もっと外へ出掛けたり出来るように市・街全体が関心を持ち、さらにバリアフリーを増やすなどより良い環境を整えてほしいと思います。コンビニや飲食店等もトイレ設備等力を入れてほしいです。助成などあると良いと思う。

Q13 スロープは障害者に限らず、乳幼児、高齢者にも必要

車イスの安心して通れる道路が欲しいと思います。

・低床バスの数不足(バス自体の数不足) ・自転車にのって鳥栖市をまわった際に意外と坂道が多いことに気づきました。障害者の方、お年を召した方が色々な場所に移動する際に公共交通機関がすくなすぎると思います。私の職場は西新町にあります。行事で難病の方々が参加することがありました。(パーキンソン病 etc)その方々の1人は交通手段がなく、自転車で門前からきてくれました。体力におどろいたと同時に何か途中であった時にどうするんだろうと心配になりました。企業としてもそのような場合を支援すべきだと思います。この様な支援を考え、実行に移す世代は誰も年をとった時の大変さなどがまだ本当には分かりません。障害も自分の身にふりかかって初めて大変さに気づくものです。賛同を得るのは難しいかもしれませんが、そのような方たちのために、支援するのは個人的には賛成です。流通で優れている鳥栖ですが、交通でも力を入れてほしいと思います。

障害者に対しての知識が、自分自身かなり不足していると思います。そのためにも、いろいろな情報・勉強・伝達が必要だと思います。

Q10 障害のレベルによりできれば普通学級がよい Q14 経済的なことがある為、一概には言えない

70才すぎているので問に対する答えははっきりいえません。自分が障害にならないよう、気をつける、人に迷惑かけないようにと思うことが精一杯です。

私の家族に障害者がいて、現在は亡くなったのですが、やはり当事にならないと本当の事が判らないと思います。まだまだ企業等の協力も低い様に感じます。世の中がもっと明るい社会にならないと理解がない様に感じます。

Q17 障害による Q18 相手による Q13 は、障害者向けというより、お年寄のためにもなるような施設を考えた方がいい。 障害者をひとくくりにしても質問に答えられない。(特に Q17～Q20) 視覚障害者などと知的障害者では、こちらの感じ方も対応も変わってくる。知的障害者とそれ以外とで、公平な障害者向けの対応を考えるのはどうかと思う。こう考えるのは差別なんだろうけど。

九千部学園等の子供達、良く頑張っているが、保護者の高齢化が進み、大変と思う！学園に対する予算面をもっと増す様、検討すべきではないでしょうか！

Q17、18、設問がおかしいのでは？ ある人ない人同じ気持ちです Q21 よくわかりません

Q17～Q20 の意図がわからない。

障害をお持ちの方はさまざまで、私達障害のないものが何かお手伝いできることがないかと言っても、話を聞いて頂ける場合と聞いて頂けない場合があり、心の障害(壁・理解)は私達障害のないものだけとは思えない。ただ、障害をお持ちの方が不便に思われるような環境を私達も作らないよう日頃から意識はして生活していかなければならないと思う。

Q17,Q18 普通 手帳等を取得されない境界線の方々への支援についてどうにかできないかと思えます。外見では障害者とわからず、でも相手の言うことがよく理解できず、うまく社会に適用できない人々がたくさんいると思えます。

・Q17～19 は、障害のない人とのかかわりと同じだと思う。仕事や地域で障害のある人とのかかわりが密接だと、この質問は生きると思うが、日頃接点がないと、特に 17, 18 においてはあまり意味をなさないのではないか。 ・障害には知的・身体的・精神的と色々と、ニーズ様々、ひとくくりで障害者とする回答も難しい。

障害者と接する時、健常者と同等に接することが大事である。健常者が普通にできる事を、障害者ができた時、ことさらにほめない、さりげなく普通に対応することが必要と思う。障害者をほめたつもりでも、相手がどう思うか察する気持が大事である。

実際身近な人で、障害者と関わる機会がないので実感として分らない。でも身内で障害者が出た場合、右往左往すると思えます。町内では最近デイサービス等に世話になって居られる方が増えていきます。家族・地域的な問題として今後勉強して行かなくてはと考えます。

実弟、義理の妹、弟の子が障害を持っていますが、何かで集った時には普通にかかわれますが、他人の方はどういう人なのかかわからないので、つかまえたところがあります。グループで施設まわりをしたりする時は結構声かけしたりしますが…。特に男性の方にはなかなか声かけにくいですね。

Q4 仕事で毎日障害のある人に接している Q13 ギムにするべき Q14 障害を持つ人もそれ以上に努力するべき Q15 行政がかかわっていたら参加いなければ不参加 こういうアンケートはとていい事だと思います。がんばって下さい。お年よりは介護保険でいろいろたすけられますが、若い障害をもつ人は、まだまだ活動の場も少なく、すみやすいとはいえないと思えます。アメリカでは、障害をもった人がふつうにバスに乗れますし(車イスで介助者なしで)、お酒飲みにもいきます。そんな社会になるといいと思えます。そのためには、障害をもつ人もそのハンディーをカバーするだけの、また、人に必要とされるために全力でがんばらないといけないと思えます。

抽象的な質問が多く、意図が分かりづらかったです。お答えするのに迷いました。

一般企業も障害のある人達を導入し、人とのふれ合いを通じ、より良い人間関係を作り出し接する事で信頼感を深めることで意思の疎通を図る。

・障害者も共に生きるという基礎理念の下、基本的な支援・環境整備は公的にやって欲しい。合せて、一般市民が近くで仲間として触れ合っている社会となって欲しい。 ・子供の頃から健常者と障害者がもう少し触れ合い、偏見を持たない自然な意識作りに向けた教育のあり方を考えて欲しい。

Q17 障害のない人と同じでその人の性格しだい Q18 その人個人次第 Q20 不安とは気持ちでなく介護中にケガをさせてしまったらということ Q21 周囲に障害者がいますが（人工こうもん）2 人いますが私自身は具体的にはわかりません。新しい施設があるところはトイレもオストミー設備がととのっていますが・・・ 障害のある方から「手伝って」と声をかけられれば喜んでお手伝いします。以前、思わず手を貸したら、いらぬ事してとにらまれたので、大変だろうなあと思ってもなかなか積極的にはできません。

私の息子は 50 才になりますが、30 年近く普通の企業で働いて居りましたが 3 年前に仕事について行けず、いじめにもあいやめました。高校は出ていますが知的障害があります。平成 2 年に療育手帳 B をいただきましたが、なかなか仕事がなく本人も障害の重い人にいじめられた事があり普通の企業で働きたいと、ハローワーク通いを続けて居りますが 50 才をすぎると仕事がなく、希望する仕事としたい悩んでいます。母親としては社会にお役に立てる仕事が出来ればと思います。

一言で障害といっても、様々な種々があり程度があると思う。障害が軽度の方は、障害者と区分させること自体に不満があるように思う。また私は、私本人が障害者と接するのはよいが、小さな子となると正直接させるのは怖い。

障害の程度にもよるが、強者もしくは弱者にもなりうる？

歩道がせまい所があり散歩しにくい。家には 20 才と 60 才の障害者がいるので、車検とかの費用をある程度負担してほしい。

Q17 嬉しい Q18 楽しい の質問自体が変です。どうして嬉しいとか楽しいとかの質問がでるのでしょうか？他人とかかわる時に、最初に接する時は相手が分からないので、見た目判断すると思いますが、嬉しい・楽しいは障害のある人に失礼です。相手を見下している様です。 精神障害・身体障害と相手の事が分からない時に接するのは不安です。

強度の障害者ではなかったし、運動も余裕を持たせるとできる方を会場まで送迎したりしていたが、いつの間にか連絡がつかなくなった(電話は不通、手紙は戻る)し、たずねるとしてもプライバシーの関係で知れない。居場所位はたずねて知らせてもらえる位の体制を福祉施策にしてほしい。

自分が障害者ではないので、障害者の目線で設備や環境を考えたことがないというのが正直な気持ち。

・道路の設備が整っていないし、歩道の幅も狭く、自転車をよけながら歩くのもこわいと思う。店舗においても障害者用のスペースで車をとめて障害者の方が使いにくく、市民の意識が低すぎで自分勝手。 ・田代小に中原養護分校は、とても良い取り組みだと思う。子供の頃から関わっていく事は、自然に差別意識もなくなるし、不安な気持ちで接する事もなくなると思う。

・Q12 について→差別する人の意識は正直よくわかりませんが、昔からの日本人の意識の流れとか現代の人間関係というか、自分のことで精一杯とか弱者のことはあとまわしという政治・行政のやり

方とか、いろいろな要因があると思います。 ・Q20 について→私自身、日常全くそういう人と接していない生活を60年以上過ごしてきて、その人の障害の種類によっては、適切な対応ができる自信がないという意味です。 ・Q17、Q18 の嬉しい・楽しいという意味がピンときません。 ・小さい子供の頃からもっと自然にというか、同じように育て、育てて、特別な意識をもたないような仕組みになればよいと強く思っています。

障害者本人・家族に対して、役所の説明不足だと思う。将来に向けてのアドバイスをお願いしたい。

障害者の役に立つ仕事をして居りますが本当に適正な障害認定を決定されているか疑問に思う事があります。本当に必要な人に障害者認定がされて居るのでしょうか？そうは思いません。政治力・財力が相当影響されて居る様にしか考えられません。

市民一人一人が、安心して快適に生活できる町作りをお願いします。

Q17～Q21 はどちらとも言えないに○をつけましたが、質問の主旨がわからない。どちらとも言えないというよりは、かかわった事がないのでどのように思うかわからないし、他の健常者と同じようにかかわると思うのでなんとも答えようがない。

申し訳ありませんが、身近に障害のある方がいせんのでかかわって嬉しいとか楽しいとかよく分かりません。怖いかどうかは、相手の性別や年齢にもよる気がします。障害のある方の立場になって、鳥栖市での生活を考えたことがないのでよく分かりませんが、歩道も狭く段差があったりするので目、足が不自由な方には暮らしにくいのかも…とは思っています。

パーキングパーミットに通常の人が駐車しているのを多く見かけるのが気になる。

主に知的障害を頭に浮かべて回答したため、主旨にそわない物があるかも知れません。

(順不同)

第5章. まとめ

1. 提言

本調査においては、前述のような分析結果を得ることができた。それに伴って、大きく次のようなことが言えると思われる。

障害当事者は満足度が高いが障害関連の知識や社会参加への意識が低く、逆に家族は満足度は低いが障害関連の知識や社会参加への意識が高いという、相反する傾向が見られた。その要因としては、

- (1) 現在の福祉サービスが一定の質量が満たされる一方、そのことが家族への情報として伝わっていない。
- (2) 家族や福祉職など周囲の人が過剰に保護しているため、障害当事者の自立性が育まれていない。
- (3) 障害当事者の社会参加が少ないため他者や他地域との比較ができず、自分が置かれている状況に対する相対的認識が十分にできない。
- (4) 障害当事者に対する支援に比べ、家族への必要な支援が足りない。

などが考えられる。具体的には別の形で検証が必要だが、障害当事者のエンパワーメントの視点に立った支援と、家族が安心して暮らせるための情報提供や家族に焦点を当てた支援の充実が必要であろう。

また、障害のある人とかかわることについて、嬉しい・楽しいとポジティブに感じる人が、怖い・不安と感じる人に比べて、障害のある人への理解が高い傾向が見られた。ボランティア経験や、障害のある人との関係とも相関度が高い。はっきりとした因果関係を述べることはできないが、日常的なかかわりを少しでも増やし深めていくことで、障害理解の促進に繋がると考えられる。

その他、推察される傾向も含めて今後も検証しつつ、鳥栖市に於ける障害理解の促進と障害福祉施策に反映されることを切に願うものである。

2. 補足説明

Q17～20 に於ける障害のある人とのかかわる際の感情の設問に対し、特にたくさんのご意見をいただきました。本調査では、鳥栖市に於ける障害理解の状況把握を目的としたため、このような設問を設けさせていただきました。

このようなことを問うこと自体が不適切であるのご指摘をいただいた皆さまには、平素より障害のある人のことをご理解いただいていることと存じます。私共も、障害のある人それぞれに個性があり、一概に言えないことは十分認識しております。しかしながら、実際にはイメージや偏見があることも想定され、その度合いを明らかにするためにあえてお尋ねさせていただきました。

不快に思われた皆さまには心よりお詫びすると共に、今後ますます障害のある人へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。

3. 謝辞

お忙しい中を回答にご協力いただきました鳥栖市民の皆様、調査実施にあたりご助力いただいた数多くの皆様に、心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

資料. 調査票

【ご協力をお願い】 障害者とその生活に対する関心度調査について

日ごろから、市民の皆様には福祉行政に多大なご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、鳥栖市では、あらゆる市民の方がこの地域の中でよりよい暮らしを営んでいけるよう、障害福祉の推進に取り組んでいます。

このアンケート調査は、計画に基づき実施する障害福祉施策において、市民の皆様のご意見を反映するために行うもので、市民 2,000 人をコンピューター処理により無作為に選び、ご協力をお願いするものです。

調査は無記名であり、回答結果は統計的に処理されますので、あなた個人が特定されることはありません。また、調査結果は調査の目的以外に利用されることはありません。

実 施 主 体：鳥栖市

調査企画・集計：NPO 法人しょうがい生活支援の会すみか

<ご記入について>

- ・それぞれの問について、あてはまる番号を○で囲んでください。自由記述の箇所は、()内にその内容を具体的にお書きください。
- ・ご記入が済まれた調査票は、同封の返信用封筒（切手、記名は不要）に入れて、**12月12日（月）までにご投函ください。**

【視覚障害のある方、お身体が不自由な方、介助なさっている方へ】

この調査票については点字や録音での回答が困難であるため、誠に申し訳ありませんが、点字版や録音版をご用意しておりません。記入にあたりましては、日ごろ介助なさっている方のご協力をいただきますようお願いいたします。また、お身体が不自由なため自筆による回答が困難な方も、同様に介助なさっている方のご協力をお願いいたします。

なお、ご記入が困難な場合は、下記の問い合わせにご連絡いただければ調査員が聞き取りに伺いますので、遠慮なくお申し出ください。

■ご不明な点などありましたら、下記までお問い合わせください。

鳥栖市社会福祉課障害者福祉係 TEL 85-3642

<障害者とその生活に対する関心度調査>

それぞれの質問について、○印をつけてお答え下さい。

Q1.あなたの年齢のうち当てはまるものはどれですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 20代 (2) 30代 (3) 40代
(4) 50代 (5) 60代 (6) 70才以上

Q2.あなたの性別のうち当てはまるものはどれですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 男性 (2) 女性

Q3.あなたのお住まいの地区はどちらですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 鳥栖 (2) 鳥栖北 (3) 田代 (4) 弥生が丘
(5) 若葉 (6) 基里 (7) 麓 (8) 旭
(9) 分からない（町名： ）

Q4.あなたと障害のある人との関係の中で、当てはまるものはどれですか？（当てはまる1つに○）

- (1) 自分自身が障害当事者
(2) （自分は障害当事者ではないが）家族に障害のある人がいる（いた）
(3) （自分や家族にはいないが）友人、職場の同僚、近所等に障害のある人がいる（いた）→SQ4.へ
(4) 特に障害のある知り合いはいない

SQ4.【Q4.で(3)とお答えの方】あなたはその方との程度かかわりがありますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 顔見知り程度（だった）
(2) 時々お話をする（した）
(3) ほぼ毎日顔を合わせる（合わせた）

Q5.あなたは、障害のある人を支援するボランティア経験がありますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 現在も継続的に参加している
(2) 過去に参加したことがある
(3) ない

Q6.あなたは、「バリアフリー」を知っていますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 聞いたことがあるし、言葉の意味もよく知っている
(2) 聞いたことがあるし、言葉の意味も何となく分かる
(3) 聞いたことはあるが、言葉の意味は分からない
(4) 聞いたことがない

Q7.あなたは、「ユニバーサルデザイン」を知っていますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 聞いたことがあるし、言葉の意味もよく知っている
(2) 聞いたことがあるし、言葉の意味も何となく分かる
(3) 聞いたことはあるが、言葉の意味は分からない
(4) 聞いたことがない

SQ12.【Q12.で(1)又は(2)とお答えの方】あなたは、障害を理由とする差別を行っている人の意識についてどう思いますか。(当てはまる1つに○)

- (1) 意図的に行われている差別が多い
- (2) どちらかという、意図的に行われている差別が多い
- (3) どちらかという、無意識に行われている差別が多い
- (4) 無意識に行われている差別が多い
- (5) わからない

Q13.あなたは、企業や学校・病院などが障害のある顧客・利用者のために負担をしてスロープを設置したり点字や手話などで情報を提供したりするなどの様々な配慮を行うことについてどう思いますか。(当てはまる1つに○)

- (1) 企業や学校・病院などは積極的に行うべきである
- (2) 企業や学校・病院などにとって過度な負担とならないように考慮して行うべきである
- (3) 企業や学校・病院などは行う必要はない
- (4) わからない

Q14.あなたは、企業や学校・病院などが障害のある従業員のために負担をしてスロープを設置したり点字や手話などで情報を提供したりするなどの様々な配慮を行うことについてどう思いますか。(当てはまる1つに○)

- (1) 企業や学校・病院などは積極的に行うべきである
- (2) 企業や学校・病院などにとって過度な負担とならないように考慮して行うべきである
- (3) 企業や学校・病院などは行う必要はない
- (4) わからない

Q15.あなたの住む町内の地域行事(体育祭、文化祭、清掃活動、等)において、障害のある人は参加していますか？(当てはまる1つに○)

- (1) とても参加している
- (2) どちらかといえば、参加している
- (3) どちらかといえば、参加していない→SQ15.へ
- (4) 参加していない→SQ15.へ
- (5) わからない

SQ15.【Q15.で(3)または(4)とお答えの方】障害のある人が地域行事に参加していない理由はなんだと思いますか？(当てはまる全てに○)

- (1) 地域行事が行われる場所までの移動手段がない
- (2) 地域行事が行われる場所の施設・設備が使いづらい
- (3) 地域行事が行われる場所で支援してくれる人がいない
- (4) 地域行事に参加したいと思えるプログラムがない
- (5) 地域住民の理解がないために参加しても居心地が悪い
- (6) 地域住民と交流することに消極的
- (7) その他 ()
- (8) わからない

Q16.あなたの家の近くに福祉施設（作業所、グループホーム、等）ができることになりました。どう思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 賛同する
- (2) どちらかといえば、賛同する
- (3) どちらかといえば、賛同しない
- (4) 賛同しない
- (5) どちらとも言えない

Q17.あなたが障害のある人とかかわる際、嬉しいと思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 思う
- (2) やや思う
- (3) やや思わない
- (4) 思わない
- (5) どちらとも言えない

Q18.あなたが障害のある人とかかわる際、楽しいと思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 思う
- (2) やや思う
- (3) やや思わない
- (4) 思わない
- (5) どちらとも言えない

Q19.あなたが障害のある人とかかわる際、怖いと思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 思う
- (2) やや思う
- (3) やや思わない
- (4) 思わない
- (5) どちらとも言えない

Q20.あなたが障害のある人とかかわる際、不安と思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 思う
- (2) やや思う
- (3) やや思わない
- (4) 思わない
- (5) どちらとも言えない

Q21.あなたは、鳥栖市における障害者の暮らしやすさについてどう思いますか？（当てはまる1つに○）

- (1) 暮らしやすい
- (2) どちらかといえば、暮らしやすい
- (3) どちらかといえば、暮らしにくい
- (4) 暮らしにくい
- (5) どちらとも言えない

Q22.その他、ご意見などありましたらお書き下さい。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。